

# 母からの手紙

増田 暎子



はじめに

小学三年の私と就学前の弟、妻と自分の計四大家族を連れて、父は北海道へ渡ってきました。目指すは農業、十年経って十町の成功検査をクリアすれば成功と見なすという訳です。初めは電気も水道も無く、まるで原始生活でした。曲りなりにも静岡（出身地）では、温暖な気候の元で生活していたもので、朝起きたら、布団の裾に雪が降り込んでいるという、初めての体験をしました。やがて自分達で電柱を立て、電気を引き水道も引きました。小学校も建ちました。村の形を成してきました。記念に根回しをした桜の木を植えました。皆思わず拍手しました。学校を中心に皆の生活が動き始めましたが、毎朝のように冷たいガスがかかる気候と粘土質の栄養の無い赤土のため、作物の出来が悪く、農業で自立する事がむずかしく、やがて、ポツポツと離農が始まり、最後に皆、離農して、日東農場に売り渡し五十嵐開拓は終わりを告げました。

私達家族は、鶏を飼って卵を生ませたり、馬を飼って子供を生ませたりして、貧しいながら生活を楽しんでいましたが、昭和三十四年に父が倒れた事により、生活が一変します。強い肉体労働には向かない弟は、写植の道に進み、一方私も同じ仕事をするなら自分の好きな事と保母になる事を選びました。この度、母の手紙を読み返して見て、昭和三十七年代の物価等が記録に残るのではないか、と思い懸命に生きてきた証を文にして残せたらと一冊にまとめました。

昭和二十七年

昭和三十七年五月十五日

暎子さん、保母さんの一日はいかがでしたか。

私の方は、淋しいだろうとケイ子が泊まりに来ました。今日聞いたのですが幸子と二人で自分が泊まると言い合ってとうとうケイ子が勝ったのだそうです。

今日はジャンケンをして幸子が勝ったので今に来るかも知れませんよ。

今日は、家の前に材を運びにくるトラックに昨日たのんでおいて、肥料を運んで貰いました。運賃は不要ないと云ふのでゆで卵を十ヶお札に上げました。

そしたら丁度何時も家で休んでいく郵便屋さんが、一輝からの書留を持って来ましたので一輝の手紙と貴方への書留を頼みました。今日はホントについてますよ。

一輝からは、本人にとつて嬉しい手紙で、費用は全部会社もちで五月七日から一ヶ月間、東京の森沢写真植字機製作所と云う所へ、写植の技術養成のため通ふのだそうです。

例によつて植字機のコウソウなるものが下手な絵によつて、しめされてありますがさっぱりわかりません。とにかく東京へロハで行かれると云ふので喜んでいました。この送金も日本橋の局から出してありました。手紙は貴女が今度帰った時にごらん下さい。

手取りは頑張ったので一万円になったそうですがチケット二千円引かれて、又オープンとサンダルを買ったの

で私に三千円送って残りが三千円だそうです。取るのも大きいけどよく使うものね。アキレました。

一輝には貴女が蘭越へ行った事知らせておきました。貴女も自分で手紙を出して下さいね。

此処までは十二日に書きました。昨日は小雨なので内海さんに丹前下と座布団を縫いに行き仕上げました。今日は十四日で貴女からの便りがとどきました。無事務まる様なので安心致しました。

家のいもまきはまた何時になるかちよつと解りません。秋元さんとよく打合せてからお知らせ致します。急いで書きましたが又お便りします。

暎子さん江

母



今まで、家族四人で仲睦まじく暮らしていたものが、まず父が倒れ、息子が就職の道を選び、頼みの綱の娘も別の道に進む事になり、手紙には平常心を装っていても、さぞ心細いものがあつたと思います。

そんな中で、隣の中村家の幸子と慶子の二人の娘と、家族の心遣いはさぞ頼りになった事と思います。その他の人達の昭和三十七年頃の人情深さが感じられます。

私は、一生のうちで、同じ働くなら自分の好きな仕事に就きたいと保母の仕事を選びました。夢はいっぱいだが、右も左も分らないのが現実で、その分、母には寂しい思いをさせたいと思います。

ちなみに、私の初任給は五千円でその頃では、普通でした。それよりも希望の仕事に就けた喜びの方で頭がいっぱいでした。

昭和三十七年六月四日

今日は朝から雨が降っています。

昨日は小豆を三反ほど山の上にもぎ、後三反まくつもりで農協から電話をかけて貰いましたが、通じましたかしら。

屋根はトタンを張ったので、風が吹いても雨が降っても安心していられます。三千円頭金に拂い、後八月まで三千づつ拂うことになっています。

鶏は五羽もだきがついて卵の生みが少なくなり、おまけに一ヶ八円になったので、此の処四苦八苦で貴女からの送金を首を長く待っていました。

どうも有難うございました。

それから夏涼しい時着るスーツ上衣（純毛の）を買いましたから、今度来た時よかつたら着てください。但し中古です。悪ければ私が着ます。金額は千人百円です。ある時拂いでよろしいです。

武田さんから買ったのですから。中村さんの初ちゃんに黒のスーツ上下（五千円）。但し七、八年前の方で私なら買いませんね。あんなもの。

一輝からは其の後便りはありません。無事にやっている事と思っておりますが、此の度、松木のいわおちゃんが亡くなったそうで、昨日お骨をおじさんが四国から持って来ました。

本当に可哀そうですね。私も一輝の事が少々心配になりました。急に心臓が悪くなったらしいです。一回松木さんにお線香を上げに行くつもりです。

貴女も大分なれた様ですね。勉強の方はどうですか。基方の通教支部へ入りましたかしら。

私は一人で暮らすのも大分なれて、此の度は学校の奥さんから文春を六冊ばかりもらつて来て、毎晩寢床の中で読んでそのまま眼が付きそうになると、電気を消して眠りますから疲れているので、朝まで何も知らずです。

ひよこは、此の度ようやく小屋に（一人で作りましたよ）うつしました。

けい子が窓の下で私から受取り、幸子が戸を開けたり閉じたりしていれました。数えたらやっぱり三〇羽いました。前にねこに取られたのはおまけでしたよ。

明日は、松木いわおちゃんの二夕七日で坊さんが来るそうで私も行きます。さつき香典を持って行って来ました。

松木さんのおじさんは行く時、札幌から四国の高知まで飛行機で行ったそうです。旅費は汽車からなにか三万かかったそうです。

地こくの沙汰も金次第と云いますがほんとにもったいない様な気がしますね。では又この次にさようなら

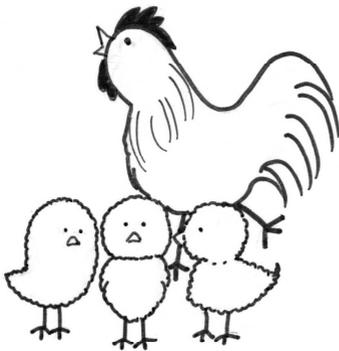
暎子ちゃん江

母

母が一人で頑張る農業の始まり、エールを送りたいです。

屋根にトタンを張ったとか、仲々やるじゃない。元は全戸桎屋根といって、薄い板を重ねて張っていく方法で職人さんが口に釘をふくんで、目にも止まらぬ早さで、マサを打っていたものです。

学校の奥さんと云われている五十嵐小学校校長夫人は、気の良い人です。五十嵐の文化の灯の様なもので、母も文春をもらって読んだようですが、私も「赤毛のアン」や「ジェーンエア」等を貸してもらって感動して読んだ記憶があります。



昭和三十七年六月二十二日

其の後御變りは御座いませんか。

此の度、十七日の運動会は晴天に恵まれ、学園の子供達と一緒に一日を楽しんだでしょうね。私はあれから松木さんと内海さんのたんぼに二日づつ行きましたよ。それで運動会の寄付やなにかが出ました。此方の運動会は二十八日に決まりました。

雨天なら三十日だそうです。

此度は、青年が少ないので婦人会から放送係とレコード係を出す事になり、放送係は揚張さんに決まったのですが、何をしゃべり出すか分からないので心配になったらしく（奥さんが）取り止め、横井さんが今年も放送係、私がレコード係になりました。寄付は四百円しました。

次に開協婦人部の研修会が七月二十五、六とあります。

行く先は登別で五十風の婦人部ではほとんど行く筈です。

私も行く事にしました。旅費は五十風婦人会から一人五百円位補助してくれるのでそうかかりません。

留守の方は中村さんのじじが鶏にえさをやってくれますから、思い切って行って来ます。

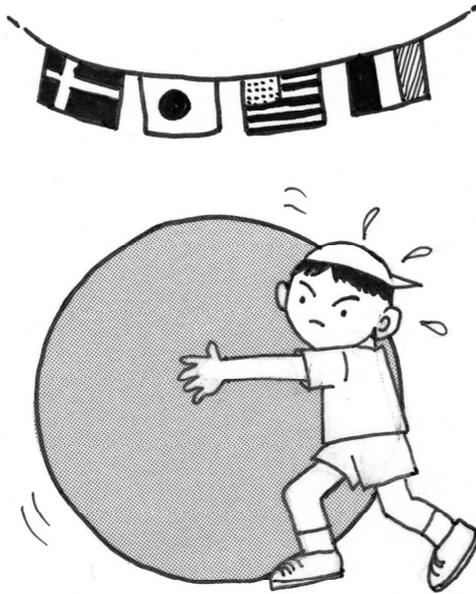
此の度、一輝からは二千円だけ送って来ました。

此の次には多く送るからと書いてありましたが、それを少し当てにしてゐるわけです。

急いで書いているので乱雑ですが又ゆっくりお知らせします。一輝からの手紙は五行ぐらいしか書いてありませんでしたよ。では お元気で

暎子さん江

母より



昭和三十七年六月二十日

暑くなりましたね。二十八日の運動会の日は、雨が降るので駄目かと思いましたが、無理にやりました。午前中は、時々雨がパラパラ来て放送係のテントの中でもふるえてやりました。

丁度、貴女のお手紙も運動会の最中に来ました。

今年は、私達婦人のお出る競ぎは少なく、個人競ぎは一回で例の封筒を拾って走るの、それには運よく一等にりました。

賞品は、ハンカチと鉛筆二本頂きました。それで終りです。

どうやら、無事レコード係は務めました。

夜になって、売店のお金が足りなくて、それを巡って揚張さんが大あばれをしたそうです。

詳しい事は今度貴女が家へ帰った時お話しします。

今は、イチゴがシーズンです。昨日は、佐のさんから買って来ようと食べました。家のは、一日に七ツ位づつ赤くなります。

イチゴを食べに帰ってきませんか？

畑の方は、馬鈴薯（トキビ）の草取りが終了。今度は、山の上の小豆です。此の頃は、中村さんで毎日風呂を立ててくれます。

ジジは、水道人夫の飯場へ御飯たきでかせいでいます。(秋元さんのとこ)

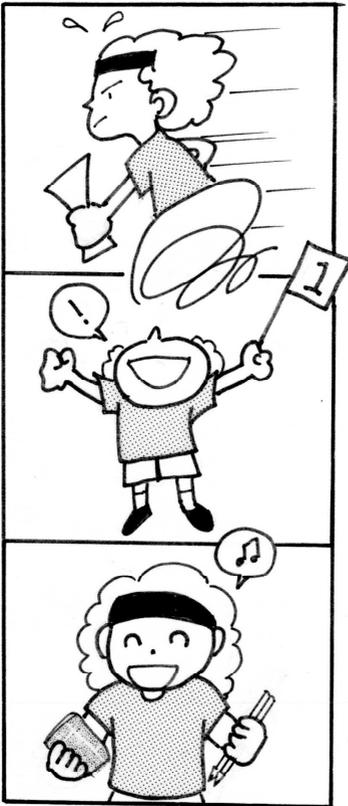
毎日、お風呂で汗を流してから寝る事は本当に快適ですよ。

昨日、だき鳥等古い鶏を十五羽売りました。この所、赤字続きでえさも借りっぱなしの状態ですので、これで一息つけます。今日は、農協之行って来ます。四十五文だったので、予算より少ないと思ふのですが、仕方がありません。

運動会のプログラム、同封致しましたから見て下さい。

さよなら

暎子ちゃん



毎年六月に行われる運動会は一大事業です。皆の協力なしには運動会も成り立たないので、校長先生の奥さんも父兄をおたてたり、励ましたり大変苦労があつたものと思います。

開協婦人部の研修会は、七月二十五、六日の予定、登別一泊旅行です。登別といえ、初めての人も多いはず、さぞ楽しみだったと思います。そこへ登場するのが、鶏の餌やりじいさん。隣の協力なしには、一人暮しは成り立ちません。

昨日抱き鶏を売つたと書いてありますが、抱き鶏とは、古い鶏が卵を生まずに巢に座りっぱなしで卵を温め、孵化させる事で、そうなると卵の生産率が下りますので、そんな鶏は見つけ次第、「働かざるものは、食うべからず」で、文字通り首です。十五羽が肉となつたわけです。

鶏の卵を生む最盛期は、三年位なので、鶏の顔をうかがつて、新陳代謝を図っていかなくてはなりません。

昭和三十七年七月十八日

暎子ちゃん

貴方も今日は雨でしようね。今年はどうも干害と冷害が一緒に来たようで、作物もさっぱり大きくなりません。残念にも味うりは全部無くなってしまうました。トマトは良い様です。スイカはどうなったかしら。少しはあ  
るかも知れません。

此の度、一輝からお金と写真が来た時、暎子ちゃんから手紙が来ないとあつたので一番最近の貴女の手紙を同封して送りましたら、折返し返事が来ました。今度いらした時見せます。とても面白い事が書いてありました。私はこの所多忙です。小豆の草取りをしています。近期中、下の畑を高橋さんに起こして貰ってソバと白菜、大根を蒔かねばなりません。

今、登別に行くかどうかまよっています。あんまり忙しいし、やっぱりお金の要る事だしね。

私は夏のブラウスよりスマートなスラックスが欲しいです。

学校の奥さんは此の度夏のスーツ（上衣）を着ていくというから、暎子ちゃんに送って貰いなさいと云ふのですけど少し大きいし似合ふかしらね。

今、水道作りの人夫が入っていて近い中、ブルが入るそうです。

家の馬小屋のワキをブルで押して行くそうですよ。

水道が付けば流しを良いのにするつもりです。

もう一ヶ月もすれば、朝晩めっきり寒くなりましたと手紙に書く様になるでしょうね。蒔いた物全部取り上げるにはちよつとゆるくないですよ。夏の間中せつせと手間に歩きたいと思います。時に貴女の夏季面接、札幌行きは何時ですか。行きませんか。

今月末頃ではないですか。

書いている中に暗くなって又うんと雨が降って来ました。

今度は水害の心配がありそうです。ではこの位で

さよなら

暎子ちゃん

母



昭和三十七年七月二十八日

暎子ちゃん、近頃は音無しのかまえてさっぱりですね。

おいそがしいのですか。此方では小豆の草取りです。思ったよりスカンコがいつぱい出ているので毎日苦闘しています。

此の前、お知らせした登別行止めようかと思いましたが、学校の奥さんが私の為に小樽からブラウスとナイロンのカーデイガンを買って来て呉れたので行く事にしました。安物の持物品ですが、貴女が必要な時は貸して上げますよ。ちよつと若向ですが、悪くありません。内海さんもブラウス、カーデイガンとスカートを買って来て貰ったそうです。お小遣いが豊富だったら、貴女に何かお土産を買って来て上げましょうか。当にはありませんが……

時に貴女は最近何か買いましたか。ハンドバックはありませんか？あつたら貸してもらいたいですけど無ければコースの都合で札幌に寄るかも知れませんが買って来て上げましょうか？

御返事を下さいな。

昨日は学校の畑のソバ蒔きです。私の家でも近い中にソバを蒔きます。畑は八重ちゃんに起して貰いました。二十五日には登別行きでそれまでにソバと白菜を蒔いてしまいたいと思っています。

昨年のように大雨が降らないよう祈って下さい。

ではお知らせのみ

暎子ちゃんえ

母より

母は自分では気付いてないと思いますが、弟や私から手紙が行くと機嫌が良くなるみたい  
です。干害、冷害何のそのの感じですよ。

一信目を合わせて読むと良く分るのですが、服を貰ったので、相増してルンルンです。  
登別に行く前の予定まで立てています。学校の奥さんもあちこちに気を使って大変です。そ  
れで父兄にはとても慕われて、先生の転勤は湯の里小学校だったのですが、全員新任地に送  
ってついて行ったそうです

昭和三十七年八月三十一日

暎子ちゃん

此の間は無事に帰りましたか。私の方は武田さんの家へ泊めて頂いて朝帰りでした。朝、又戸沢さんあたりから五十嵐の横井さんあたりまで降られてびしょびしょになり学校へたどりつきました。それから開協の販売の車が来るまで遊んでいました。

鶏の方は、中村さんがえん麦をかついで来てやってくれましたから御安心下さい。

貴女の時計の事学校の奥さんにお願いしましたよ。今日小樽へ行った時見て来て上げると云っていました。私の方からも助けて上げますから貯金をしなさいね。

此の間の千円は貴女名義で農協へ入れておいてあげます。それから毛布買いましたか。武田さんの家に毛布が入ったのですが、カネボーの千四百円の方は売切れて千円のが有りましたが、千円のは一寸薄手でやっぱり千四百円位でなければ駄目ですね。

あれから中村さんのえん麦落しと千代松さんのえん麦落しがあり私も行きました。千代松さんの時は丁度家へ着いたら雨で、一日食べたり飲んだりして夜帰って来ました。その時ピリカの例の朱実ちゃんと見合いました男の人が来て、一緒にさわいで唄っていました。やっぱり知性のない人と云ふ感じでした。此の辺りの稼人と一緒ですね。(次の日落しました)

今日で八月も終り、此の間から急に寒くなってびっくりしました。今度九月中頃にでも一度学園に行つて見たいと思います。その時着る物必要なものがあつたらお知らせ下さい。持つて行つて上げますよ。急いでいるので乱筆ですがごめんなさい。

暎子様

母

「武士はくわねど高楊枝」の諺があるけれど、母もそんな処があるらしい。毛布の品定めをしているのが、可笑しかったです。

燕麦落しは、何人かの人数が必要なので、手間がえと云つて仕事を手伝いに行つたり来たりしているのです。

雨に降られたらする事も無いので、俄冥云が始まりました。そうする事で、ますますお互いの絆も深まっていくのでしよう。

昭和三十七年十月一日

暎子ちゃん

今日は送金をどうも有難う。あれから急に朝夕寒くなったので、畑の作物も早く刈ってくれと云ふ様に一ぺんに赤くなりました。それで暎子の帰った次の日から、稗刈りで佐野さんの小母さんを一日たのみ刈り倒してあります。

今日は、七日の雨でからがぬれているので、山の上の小豆を少し刈りました。良い所と悪い所があるので果して何俵とれるでしょうか？

来月になったら、遊びがてら手伝いに来てくれませんか？

さてその後、父ちゃんが死んだとなるとやっぱり変に淋しい様な気がして困ります。初七日まで中村さんのねえさんが泊りに来てくれました。骨おさめの日は、雨で夜びしょびしょになって帰り中村さん家に泊まりました。

その日、ねえさんにお礼としてスカーフを買って来て上げました。一輝からは速達で四十九日か百日に帰るかと言つて来ましたが、無理して借金作つてまで帰らなくても良いから来られる時楽な気持ちで来る様にと云つてやりました。

高須の義兄さんから香典として一万円送つて来ました。これは屋根やに拂い（五千円）、後自転車やに少し拂

い、残りは貴女の時計代を返そうかと思つています。今日貴女が送つてくれた分もまぜれば農協の借り（葬式の時）が拂えます。他は全部すませました。それから和江さんからは何とも云つて来ません。

今日秀子からお悔やみの手紙だけ来ました。

他は父ちゃん弟の薫さんと云ふ人の住所を、今日古い手紙をひつくり返へして見つけましたので、これから知らせの手紙を書くつもりです。何しろ畑もやらねばならぬし、お葬式からの疲れがなかなかとれず今日ようやく洗濯をいっぱいしてかみを洗い、少しせいせいした所です。

では、お知らせはこの位にして

さようなら

母より

昭和三十七年十月十七日

暎子さん

大分寒くなりましたね。昨日うちのがけを見て、紅、緑、オリーブと色なす美しさに目を見張る思いでした。其の後は相変わらずお忙しいですか。あれから毎日私の方は、いろいろ忙しく昨日畑の取り上げは全部完了し

ました。後、小豆と稗を落すだけこれも段取りはついています。但し、千代松さんには手間の借りがだいぶ残ります。

内地の方からの香典をおしらせ致しましょうか。

親戚の方からは、堀井かのさん（姉）から五千円、堀井薫（弟）一千元、おばあちゃんから千円来ました。その他、思いがけず一輝の職場、写真製版部の島津、中村、清水の三氏から各千円づつ来ました。おかげでちよつとはかり財バツです。

貴女には、時計を買ふ為の貯金を五千円郵便局に入れました。ですから、学校の奥さんに買って来て貰ふとも自分で選んで買ふ事も出来ません。どうしますか？

次に、此の間、関西信販と云ふ、各種ミシンやテレビ等の月販売会社が来て五十嵐でも、佐々木、川本、秋元、高橋、松木、中村と私の所で買いました。毎月千円拂いで四年近くかかります。頭金は、二千元で今月二十五日にミシンが来るはずで。

今年からは私も大いに使ふつもりです。と云つても作るものがそんなにあるのかしら。

次に三年ごしの念願であつた、家の前にころがつていた「しころ」の材を製材して来ましたよ。流し元何か中村さんに作つて貰います。丁度、雨が降つて小豆落しが出来ないのです、千代松さんが自分の材を私のと中村さんのとを、持つて行つてくれました。その経費、中村さんの分とも二千元でした。

相変わらず、山のオヤジが出没して黒松内のハンターと云ふといさましいけど、六十何ポのおじさんと南川さ

ん（ジープの）が毎晩中村さんに来ています。中村さんのトーキビ畑にはアマツポがしかけられています。またえものはかかりません。早くかかれば安心できるのね。

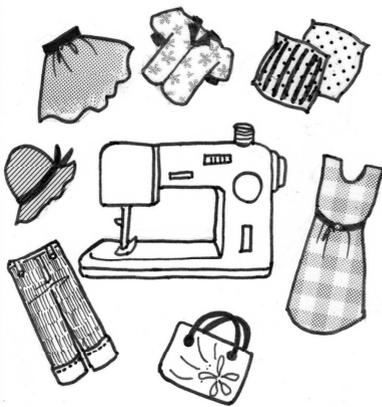
早いもので、今日でお父ちゃんの亡くなつてから一ヶ月目です。川の流れにも似て私達の生活も静かに流れたり、急流に押し流されたりしながら、一日一日と過ぎて行きますね。お話もたくさんありますからお休みを頂いて来ませんか？

寒くなつたので、冬ものも欲しくなつたでしょ。

では、この位でさよなら

十月十七日

母より



秋になったので、母も芸術家になりました。崖の

色の表現なんて、仲々な物です。

父が、死にました。北海道に夢をいっぱい託して、志半ばで意識がもどらないまま、往つてしまいました。ずっと病院生活だったとはいえ、現実に死んだとなると、母曰く、「変に淋しい様な気のぬけた様な……」分る気がします。

走っていたら、ゴールが無くなった様な、相棒の居なくなった二人三脚のようなものです。父は亡くなっても、現実には動いていて、「シコロ材」の流し製作です。母だけが残って、一抜け状態が空しさの元凶です。

その上、熊まで出没して、トーキビを横取りするとは、父の計画にはありえない話です。母の話によると、トーキビ畑の真中でお座りをして、「フツ、フツ、」と云いながらトーキビを旨そうに食べていたそうで、アマツポは上手に避けられたのでしょうか。

母の手紙を読んでいたら、やっぱり母は詩人だと思えます。

「川の流れにも似て私達の生活も静かに流れたり、急流に押し流されたりしながら、一日一日とすぎて行きますね。」

昭和三十七年に母は手紙に書いていますが、平成元年に秋元康、作詞・作曲、美空ひばり歌、で大ヒットの「川の流れのように」によく似ていて、母の感性の豊かさに拍手です。

昭和二十八年

昭和三十八年一月申

暎子ちゃん 其の後のいかがですか。

三日には、一輝を長万部まで送って行きました。又よいお天気ですね。つい行きたくなりますよ。無事まりもに乗って行きましたが、其の後便りはありません。

あれから後は、東北地方の列車ダイヤは乱れるし、連絡船は欠航するしで良い時帰ったと安心して居るのですけど…。

その日岡田屋をのぞいて掛布団のカバー二百参拾円で買って来ました。安い物山とありましたが、時間がなくてゆつくり見るひまがありませんでした。今度一緒にいきませんか？

何か買って上げますよ。

時に写真出来ましたか？早く送ってくださいね。一輝の会社の杉山専務から写真二枚送って来ました。一輝と友人(例の背広をかわりばんに着ていた人)のともう一人加わって三人とので大層よくとれていました。

本を二冊買いました。「アンの幸福」です。おかげで三日ばかりロマンチックな気持ちになってくりました。

一輝には「まだこんな子供っぽいのを読んでいるの？」と云われたんですけど貴女に送りましょうか？

今日は又々天気がよいので薪を切りました。今度吹雪いたら、一日洋裁やるかなと思つて薪を切りためて居るわけです。

七日に黒松内に出てお寺に行ってきました。あいにく法丈さんは留守でした。お寺さんもお正月に年始廻りに忙しいらしいです。

婦人会の新年会は近年まれに見る盛況でした。さすがの内海さんのおばさんも皆んなに負けて自分でおどる余地もなかった様でした。みんなの歌はテープに取ってあるので、今度聞いてさぞ冷汗を流す事でしょうよ。揚張のおつかちゃんはたまされて、正中入れたジュースを飲んでよっぱらって教たんへ長くなつてのびていました。

ですから、ストーブもひっくり返る事もなく無事新年会は終了したわけです。夜急いで書きましたので乱筆で失礼しました。  
ではこの位で

写真早く送ってください。

さようなら

昭和三十八年一月二十二日

写真拝見致しました。五百円也のキカイでも結構楽しめますね。

暎子からのプレゼントしたシャツを着てニコニコしている一輝のと、窓の所の暎子の顔とても良いですよ。丁度、受取った時、田中助役さん関係の人達が来られて、皆学校に集まって磯谷さんに第二次五ヶ年計画の話（表むき）を聞いていました。

此の前は、久しぶりに診りよう所の山田さんが、私のお城をおとづられました。と云うわけ。

さて選挙は二月三日なので、其の前日にでも家へいらつしやい。貴女の乗って来た汽車と一緒に長万部へ行くのは良いです。静かな日なら良いですがね。

私の方の汽車は九時五十七分中ノ川発ですから御承知願います。それ以上早いのはちよつと間に合いかねるわね。貴女の汽車は黒松内十一時二十三分頃着く汽車になります。

此の手紙着いたら至急、返信下さい。すれ違いの悲劇？も有難くないです。

あれから一輝はさっぱりです。今頃わあわあやっているのでしょうかが手紙の一本位書いたっていいのね。佐のさん夫婦十七日に内地へ行きました。

朱美ちゃんの所へ（八月に赤ちゃんが出来ました）行くので…。

朱実ちゃんは川崎の貝塚に住んでいます。一緒に行こう云ってくれたんですけど、私は内地嫌いですから何故行きたいと思う様になるかギモンです。

洋裁の方はさっぱり進みません。何か暎子にアツと云わせられるものを作らうかと思つて居ますが…。では御返信待つていますよ。

さようなら

暎子様

母。

昭和三十八年一月末

暎子ちゃん 御便り拝見致しました。

思い切って行く事にします。昨日私の婦人会の貯金通帳を見たらようやく四千円ばかりありました。少なくとも五千円は持つて行けると思ふのですけど、何も買えそうもありませんね。

二月の十日まで薪の木代金三千五百円ばかり要るのですが何とかなるでしょう。一輝から三千円くればいいんだけど……。

今年はどうした事か卵価がキロ百五十円（二ヶ八円ぐらい）にさがっちゃって、大変苦しい所です。それに今年はずっと配合をやっているで月六袋位はどうしても買わねばならず、その他魚粉とヌカを一俵買っています。

今年の薪は、久二夫さんに薪を貸してあるので切って出してくれると張り切っているので貸したのですが、

相殺すれば木代金の出費だけで薪全部が手に入るので薪の心配はなくなります。まあ薪の事は二月十日以降になるので何とかなるでしょう。

三十日には隣へ鶏の事を頼んで、四時の汽車（此の間映子の帰った汽車）で行きます。

寿都線は今、汽車は一往復（夕方の汽車だけ）で他はバスばかりで黒松内に出るのにも困ります。宿の事校長の奥さんに聞きましたら、産業会館と云ふのが五番館の裏だかにあって、大きなビルの五階たそ  
うです。

食事は外ですので、一泊五百円位だと云っていました。

行くまでには他の人にも聞いてみます。若し、産業会館が満室の時は其処で他をあっせんしてくれるそつで、何とかなると思います。

丁度、雪祭りなので宿は満室になるんぢやないかしらね。

では三十日の夕方五時頃貴方に着きますから、よろしくお  
願い致します。駅へ出てくれますか？

お母ちゃんより

映子ちゃん江



久しぶりの息子の御帰還で、母はさぞ嬉しかったろう。楽しい気持が「アンの幸せ」を買わせたのか。生活もそれなりに落ち着いている様に見受けられます。

それにしても、母も強くなったとつくづく思います。川崎市紙間屋に生まれ、すぐに塾を出して喉に真綿を巻いていたおじょうさんが、薪を切ったり畑の管理をしたりしています。新年会も盛り上っていますし、それを楽しんでいる母が居ます。

母は、何かにつけて変化を求めている、子供達が来るのを最大の楽しみにしていますが、内地が嫌いなのは、義母とその連子達に家に乗っ取られた様な気持ちがあり、変ってしまつた昔の我家を見たくなかつたのでしよう。

一月末に暎子の発案で札幌行が計画されました。無いお金を遣り繰りして行くことに決定。でも私の記憶にはありません。しかし、一泊五百円とは、今昔の感があります。

昭和三十八年二月十日

映子ちゃん、其の後の学園の空気はいかがですか？私は昨晚ちよつと胃が痛くて夜食食わずに寝ました。おかげで今日は体がスマートになった様でせいせいして薪を切りましたよ。一昨日黒松内へお茶代の送金に行つて帰りに、学校でご飯をよばれたのが二時半頃で、帰つてからすぐ夕食だったでしょ、だから原因は食べすぎです。揚張の母さん旦那さんが今、仕事がないのでのりちゃんのお金が困るので、就職の為札幌へ行ったそうで、六時から朝二時まで働いて三萬くれる所があるそうです。

校長先生は飲み屋の下働きか何かだと云っていました。いくら3万くれても体がもたないわね。揚張の母さんいま母親が病氣だとか、内地へ行っています。今日は佐々木のおつこちゃん悪いらしく、病院からすぐ来るように有線がありました。病氣が一番おそろしいわね。久二夫さんのところはとこでは男の赤ちゃんが（一昨日）生まれました。

有線で血液型A型の人は二時間以内に来る様に、と云つて来た時には驚きました。間に合わず役場の人が五人も来て輸血したそうです。それから守ちやんのところも男の赤ちゃんが生まれました。いろんな事があるでしょう。

近い中に自家用薪山が初まります。きつとくたくたになるでしょうよ、今



年はあまり荒れないので助かります。雪が少ないので山も早くやってしまわねばなりませんものね。本（此の前買ったの）を送ってくださいませんか？お便り待っています。

では さようなら

暎子様

母より

私たちが学校へ行っていった頃いた先生は、その日の気分で暴力先生に変わる先生で、父兄が立ち上がってやめてもらいました。美しい絵を画く先生なので、私の絵心にも大分、影響がありました。なぜ暴力先生に変身するのか分からないが、小学生の自分は恐さのあまり、なぜか笑いそうになり必死に笑いをこらえた記憶があります。

次に来た先生は、大変教育熱心な真面目な先生で部落ともすつかり溶け込み、母などご飯までいただいている始末、私も「赤毛のアン」や「ジェーン・エア」は奥様から貸して頂いて、文学の新しい分野に灯がともりました。しかし開拓地に入って十数年経っても農業一本では自活できず、副業（出面取り）も外せませんでした。又、病院から遠いのも小さな子供を持った家庭には恐怖で、子供がジフテリアに感染し、夜中ではなすすべもなく、朝を待つうちに、呼吸困難になって、亡くなるという、事件があり、後にその一家は離農して行きました。

昭和三十八年三月一日

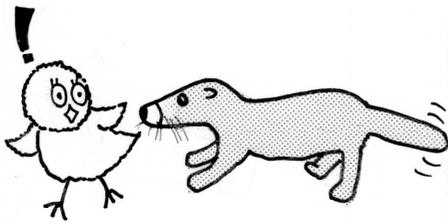
暎子ちゃん、今日は送金をどうも有難うございました。私も薪の方で貯めておいたのをすっかりはき出してしまったので助かります。

いよいよ六月にはヒヨコが来ます。三日は開協婦人部の役員会で其の前日にヒヨコの箱を横井さん作って貰いました。中村さんは今日ようやく帰宅したそうで、津軽あめを頂きました。

今日は久二夫さんにさそわれて、せめて歌棄磯谷までとの歌のように歌棄まで、コンブやのりを取りに行きたくたになりました。テクシーですからね。ヒヨコが来たらどこへも行かれないだろうからと親切にさそって下さったのでがんばりました。私の収穫は手のひら一杯のフノリだけで、ただボンヤリと景色に瞳をうばわれていたと云うわけです。

私の家では一昨日以来イタチに鶏をねらわれ、一昨日一羽やられたので次の日大至急小屋の廻りの穴を横井さんにふさいで貰った甲斐もなく、今朝三時二十分また鶏の悲鳴で飛び起き電気をつけた所イタチが窓の下で私の顔を見ていました。あんな可愛らしい顔をしていてなんてにくらいんでしょう。又一羽駄目になりました、こんばんはイタチ退治のツツポをかけて貰うことにしましたがああ・・・

話は変わって薪は平野さんが五つ切って無事出し終わりました。まだ切り度いと云



えは山の上の畑の所 三人で（横井さん久二夫さん守ちゃん）一日切るかなど云っていますがどうなる一年やら。学校へ出す五分は道路が悪くなる二日前無事に出すことが出来ました。薪を売ったから半分ほど持つて上げるからババリーかなんか買ったらいいわね。では今度此方へ来られる時お知らせしてね、待つていますからね 笠井さんによろしく。

乱筆でごめんなさい。

母より

昭和二十八年三月十五日

お手紙拝見致しました。お便りの通り、十七日はものすごい吹雪でないかぎり昆布へ行つて待つて居ります。実は四日ばかり前、以前になつた様なめまいとはきけがして、一日中なんにも食はずに布団の中に横たわつていましたが、昨日（十四日）町立病院へ行き、尿の検査やら血液検査やら血圧やらしらべて貰いました。血圧は、百四十で低くはなく鉄分不足の貧血でした。通院して三ヶ月かかると言われましたが、何時もの様なものでだんだんよくなると思えます。

原因は雪が腰だけ降った日、おまけにメンス第一日と二日目に、高橋のみのるのオバカさん山へ木を出しに行くんですからね、力仕事をした事もないのがするのですから、疲労困憊するのは当たり前です。といふわけであわてて養命酒を中村さんに買って来て貰って飲んでいる仕末です。

きようは婦人会の総会もやらねばならないし、学校へ薪を五分ださねばないので二尺に落とすのはだれかにお金を払って切って貰うつもりです。それからお申込の借金は昆布に行つた時でよろしいんですよ。

私は文春4月号を昨日買いました昆布に行く時持つて行きます。ではその日を楽しみに

暎子様

さようなら

昨日街へ出て私も軽やかなコートの様なもの欲しくなりました残念ながらジャンバーの様なもの今年はありませんせん

自家用薪始まつてからミシンの方はストップでなんにも出来ませんでした。今度長万部へ出た時あったら買って来て上げます。私もシュミーズ買いたい。

レポート此方に来ましたから同封しました。

昭和三十八年三月二十八日

春かと思う暖かさが続いたと思ふとふるえ上がる位冷たい風が吹きぬけます。此の頃は元気ですか。私は大分元気になりました。養命酒も半分方減りました。

時に今度の選挙は此方へ来られますか、それとも不在者投票に致しますか、お伺いします。

家のヒヨコは四月の六日に来ます。それまで婦人会の総会もやりたいのですが思うように行きません。体一つで仕事は一杯ありますから・・・

今、平野さんが薪を切っていますので、私はチョットした山の親方です。お金のやりくりがゆるくありません。全部でゴートー5ツか6ツありそうです。そのなか四ツ位売らないと年度末の借金が済みそうにもありません。経費の方は6ツ出れば六千円、平のさんに払います。単価は1ツ千円ですから・・・其れに出して貰うのに二千円久二夫さんに払います。自家用のほうは一ツ五百円位で落として貰っていますので、三ツあれば千五百円其の他で一万以上かかるので、とりのえさは農協の貯金の方から十袋ばかり上げて来ました。これでえさは四月一杯はありますから安心です。切り賃の方は今、別の方から持って来る予定ですがもう近々貴女からお小遣いいただけると思つて待っています。何時もすみません。

今日丁度ミシン屋が来たので今月分支払いました。驚くなかれもう七千円払い込みましたよ。今度は織物機械でも用意しますか？

いま、中村さんは父親が危篤で青森に行っています。八十三にもなって中気で三年も寝たきりなのでもう駄目だと思えます。

今月は卒業式やら何やらで、貴女の子供達もそれぞれ学園を巣立っていったのでしようね。五十嵐でも佐々木のヒロと山村さんの竹次が札幌へ松本さんのたかとしは室蘭の指物屋へ行くそうです。一輝も背広を買う年になったはずですよ。

貴女が四月に来られなかつたら又昆布へ出かけましょうか？でもヒヨコが来るまで日曜日は今月の三十一日しかありませんね、ちよつと無理かな？お返事すぐ下さい。

今日は二十七日でしょう、明日は堀井造材の山へ馬が入りますから、親方の私も道路直しに出ます。たぶん明日中には全部出来ないのでしよう。何しろ石井の健ちゃん腰が痛くてもう四日も寝たきりで平野さん夫婦が切っているのですから。予定より仕事はおくれていますから、早く出してよいのだけ積んでしまいたいとおもいます。以上報告は終わります。気温の差はげしいから体に気をつけて下さいね。

暎子ちゃん江

母

縫いものするひまありませんよ。

母は生まれも育ちも神奈川県川崎市なので、どれがフノリかも教えてもらわないと分かりません。車もない時代に良く徒歩で行ったものと思います。早春の海は美しく目に写ったものと思われず。それにつけても周りの人達が良く母の面倒を見てくれている事です。

イタチ騒動は時々ある話で、鳥目の鶏達が訳も分からず大騒ぎするので、大悲劇の様だが犠牲者は一羽だし、イタチは身は食べません。吸血鬼のように血を吸うだけときいています。しかし毎晩のように現れ、鶏小屋を騒がせると、鶏が一羽もいなくなってしまうような恐怖を感じて精神衛生上はなはだ良くありません。

季節は春に向かっていて、山から木を切り出す時期になりました。唯一の若者である健ちゃんも倒れ、中年から農業になった平野さん夫婦（健ちゃんの親）がノコギリを持っているのですから、押して知るべしです。

昭和三十八年五月

暎子ちゃん、お手紙とお金をどうも有難う。

貴女のは昨日来ていたのですが中村さん今朝もつて来ました。けい子が風邪をこじらして昨日入院しました。此の頃あんまり咳がひどいので水あめをかってきてあげたのですが、たんが切れなくてちよつと百日咳みたいなせきをしていました。

それはさておき、受験あきらめたとの事残念でしたね、通教の方意欲を燃やしたのは結構です。私も何も目的なく暮らして行くのはあまり賛成しませんからね。

今日は又私には忙しく嬉しい日でした。朝貴女の手紙をもらったら、午後には一輝から送金（三千円）と手紙が二通前に書いたのと三月四日（偶然）貴女と同じ日に書いたのと素敵なカラー写真、一輝がスケートをしているのを二枚と鎌倉で撮ったのが五枚来ました。元気らしいです。私の方の薪山が終わったら学園に私が行きますが、其の時持つて行って見せます。

四月にはヒヨコが来るので今月、中の川に行きます。何日頃がよいかご連絡ください。此の前長方部に行つたきりお風呂にご無沙汰しているのでお風呂に入りたいしいかがですか？

鶏は目下配合ばかりですが、産卵率八十%（一日四十ヶ）をずっと続けています。

ただし卵価が@百八十になってしまったので、収入は一月より月二千円も減ってしまいました。今年はヒヨコ

を二回に分けて（三十羽づつ）入れて少し収入をふやすかと思つています。お金が欲しいものね、金の世の中なり。

当地には、第二次五ヶ年計画旋風が吹きまくつて此の度又々書類を出しました。

町政懇談会の時、湯沢技師の話によると、一戸百万円貸すと云うので雑収入三十万位に書くため皆四苦八苦していました。私は借りるつもりもないので、支出の事を正直に書いて出しました。高橋さんも半日私の家へ書いて貰う為に来ましたので、うまく書いて上げました。

薪は切賃二千円と焼酎やお菓子代六百円くらいですみました。平野さんは今年も家の前に出したとたん薪は自分のものでなくなりました。学校へ二ツ八千円で行く事になっているし松木さんにも八千円で二ツ、お金は貰つてあるし薪はサキリもませて三ツ半位しかないのですからね、運搬は佐藤さんに一台四百円で頼んで十一台もかかつて現金とられたそうです。まったく佐藤さんにかかったら恐ろしいものね。私は五分学校へ出して木代金九百円ばかりおしまいです。切賃は暎子ちゃんから貰つた二千円と切る前に払つてありますから・・・鶏のえさは四袋上げてきたばかりですし、ヒヨコが来てもえさ代は持つているし、本当に暎子と一輝に申し訳ないです。だから今年はお金を残したいと思つています。貴女に後でどんと上げますよ。それから敷布団作つておきました。今貴女の使つているの打ち直しに出してませんが、もしよかったら今度私が学園に行くとき持つていって上げますけどお返事下さい。

今日はこの位でおしまいにします。明日はみのるさんと山へ木を出しに行きます。

では さようなら

暎子ちゃん江

母

昭和三十八年五月二日

暎子さんご機嫌いかがですか？

今日は私もえんどうと白菜、ほうれん草をまきました。薪は売れるのが五ツと細い自家用が三ツ位綺麗に積ま  
さっています。山にはまだ昨年に切ったのが運ばないで残っていますから今年の冬は楽に暮らせそうです。  
ヒヨコも順調に育っています。あれから箱を又三尺横に長くしたので、ストーブのほうまで箱が伸びて来て家  
が狭くなりました。

私もいろいろ悩んで水道を付けるのを止めました。三千円位で付くのにプール計算のため一万五千も払わね  
ばならないのですからね。止めた人は前田さん大泉さん佐のさんと私らしいです。後でつけたければもっと安  
くつけられます、それに此の場所で家が何年もつかしら？よそへ移るとすれば一万五千ただなげる様なもので  
すからね。

次に一輝が塩原へ行ったときの写真が来ました。今度私が貴女の所へ行く時もって行きます。新調の背広はアイビー型とか云う三ツボタンの小さな襟のです。バスに酔ったとか顔はまずい顔をしています。後は写真を見てご批判下さい。来月五日あたりは部落の畑に出役らしいです。今年は燕麦を蒔くそうです。青年も真似て燕麦のようです。

昨日は此の前の風で小屋の屋根が一坪くらい持つて行かれた所を、久二天さんと横井さんが来て直してくれました。彼等は出面とりなので半日一人四百円の計算で払いました高い様な安い様な変な気持ちです。以上で報告は終わりにします。今日は何だか疲れたのもう休みます。

さようなら

中村さんの郵便さん四月で終わりになったので手紙を出すのにサチ子に頼まなくてはならなくなりましたよ

暎子ちゃんへ

母より

昭和三十八年五月八日

暎子ちゃん、お便りとお金、横井さんからあの晩に受取りました。何時も有難う。

横井さんが来て、暎子ちゃんに逢つて来てこれこれの話をしたとかビールを飲んだとかお土産をやつて来たとか話しているのです、今月は暎子お金をよこさないのかなと一人言の様に云つたら「あッあずかつて来た」と思ひ出したように出したので、大笑いしました。

横井さんに聞いたでしようが、流しを学校から貰つて来てトタンを貼りつけてもらひ部屋もなんだか広くなりました。時に体の具合が悪いようで心配です。今帰つて来てくれると私も大変都合がよいですよ。今月の末から茂木さんの苗取り二日に行く事になっているし、貴女が留守番してくれば私の畑も一人で蒔いてしまます。一ヶ月位ちゃんと食べさせて上げますから安心下さい。思ひ切つて帰つて来てゆっくり休養しませんか？

今月の手取り多くてよかつたですね。だんだん良くなりますね、私の方は畑を二町位蒔く予定で今日肥料が上がつて来ます。肥料代一万五千くらいかかります。今年は新地は蒔かないで小豆も馬鈴薯も配合を使うことにしました。あまり畑をやりたくないと思つてもどうしても一町はやらないと肥料代が出ないので困ります。

水道は平野さんも止めました。五件やめた事になりました。本線に近い人が三人やめたのでほかの人の支払う分が多くなる様で一万五千も背負わなければならぬなんて随分ひどいので私にとつてはやめた方が水をくむ苦労はあるのですが現金がそれだけ助かり貴女が講習に行く時にも援助出来ると云うものです。

今日は此の位にして十九日に来るか一ヶ月位来るかお知らせ下さいね、待つています。

暎子ちゃん江

母ちゃん

昭和三十八年五月二十九日

映子ちゃんめずらしく長いお便りうれしく見ました。

昨日と一昨日藤九朗さんの家へ苗取りに云ってきました。朝四時半におきて7時までに行き、晚六時まで働いて帰ると早くて七時半になるので、寢床に横たわるのは十時になります。一日六百円稼ぐのはなんとゆるくない事か！今日は休みですっかりのびています。明日は小林さん次は茂木さんですもう二、三日行ったら止めようと思います。これで運動会の寄付やら支度のお金が出来たようですから・・・

貴女もスカートほしいでしょうから千円寄付して上げます。でもその中、夏の手当てが出るでしょう楽しみです。通教の方も調理師の方もガンバって下さい。私も何時も色々な点で嫌になる事がありますが、出来るだけ畑の方も鶏の方もやるつもりです。

来月末は運動会ですが、私は運動会より映子ちゃんに逢いに行つた方がうんとよいけど、婦人会の事業があるので抜けられません。婦人会も本当に面倒ですけど佐野さんが会長なので協力して上げたいと思っています。

畑の方はこれからキューリや味瓜を蒔くかなと思っています。明日は又苗取り五十嵐組は私と佐のさんと田中さんと川本さん一組で行っています。川本さんはバイクで他の三人は自転車ですが、田中さんはよつばらい運動で広い道をジグザグに走っては時々溝にまで入っていきます。ですから道も大分遠い様で私が向うについてからふりかえっても影も形もありません。ですけど他の人は私より体が丈夫らしくうらやましい位です。私

はのびない中に無理なことはやめたいと思つています。

ひよこもだんだん沢山のえさが必要になるし私もやりくりが大変です。一日一日悔いのない様暮らしたいと思つています。その中には少しはゆとりある生活が出来るのではないかとおもつていますから・・・

では又お便りします。一輝も元気な様で安心です。

さようなら

暎子ちゃん江

母さんより

春は何か良い事が起きそうで大好きです。母も生活が順調に回っている様で喜ばしいことです。鶏は黄色いヒヨコの時期から飼つて、夏頃から卵を生みます。生み始めると毎日によろしく生み続けます。

母は水道を付けることで随分悩んでいた様ですが、水道を付けなければ天秤で川から、水を汲んで来なければなりません。まさに、発展途上国です。

家族の中で一番丈夫なのが私でした。父は家長だし大事にしなければと養命酒を飲む権利を得、母は弱いので権利があり、弟は小さく虚弱なので飲む権利があり、結局私はあの甘い養命酒を飲む権利がなく随分悔しい思いをしたので、七十数才になつた今でも記憶に残つていて、理不尽だと思ひ出されます。



昭和三十八年六月五日

暎子ちゃん此の前は一寸の時間の出逢いでしたけど本当によかったと思いました。

今もゆかたを（まだ布のままです）出して見ました。今度雨が降ったら縫うつもりです。帰ったら貴女からの現金書留も中村さんが受取ってくれてありました。重ね重ねどうも有難う。早速鶏のえさを買いましたよ。本当にお金は足の早いものです。あの日黒松内で水道のビニールパイプとジョウロを買ひ、夕方取りつけようやく私の所でも水道が出来ました。でもこの水は八月になると切られてしまうので又後で三十mパイプをつぎたして水を落とす所から取るつもりです。

帰りの汽車の中で阿部先生の奥さんになった今田さんに逢いました。俱知安高の通教へ佐々木さんとか云う人がいつているそうですね、暎子のことその人から聞いておぼえていました。今田さんのお父さんが前の日突然にたおれたとかの事で大層心配していられたが人の話ではたいした事はない様です。

今日は稲垣さんの苗取りをそれも昨晩頼まれたのですが、鶏小屋の掃除もしてヒヨコを出す支度もしなくてはならないのでやめました。六日、七日は鈴木さんへ行く予定です。あとは日程に余裕あれば楊張さんと佐藤さんですが重なれば行く事が出来ません、五十嵐はお金があてにならないし痛しかゆしの所です。

一輝からはまだ何も来ませんが楽しみです。ではこの位で茂美ちゃんによろしく。

暎子ちゃん江

母より

昭和三十八年六月十八日

暎子ちゃん

毎日嫌な天気が続きますね、お元気ですか。運動会の日定が決まりましたのでお知らせします。一昨日は出演で運動会の地均しで七時半頃まで働かされました。そして昨晩は役員会で夜中の十二時半まで私も婦人会の方から出席したので今日はいささかグロッキーです。

雨も止まないものでゆかたを縫いに九時半頃からとりかかりましたら、又々有線で午後一時より婦人会の常会だそうです。

手紙横道にそれましたが運動会は六月三十日（日曜日）です。昨晚佐藤PT会長大分メートルが上がってみんなの反感をかったようですが、相変わらずハデにお金を費いたい様子で、とうとう寺の寄付が一戸七百元平均に決まりました。本当に驚いたものです。

私は運動会ほどバカバカしいものはないと思っています。時に貴女は運動会を見にと云うより私の所に来ますか？私はいずれ午後からの常会で売店の売子にでもならなければならないので運動会も忙しいばかりです。

昨日は久二夫さんがうちのトンビを戻しに来ての話ですが、五十嵐から五人ばかり蘭越から昆布へ向う道路の夫婦として今日行くが、運動会の前日帰って来るからその時暎子ちゃんもつれて来てやるなどと云っています。よけいなお世話ですよね。さて以上の様なわけです。都合がよかつたらばその日でも前の日でも来たらいかがですか。

一輝は二千円送ってこないのたんぼでかせいだのがあるので助かりました。どうやら運動会は切りぬけられそうです。ではお知らせのみ

返事まつています。

暎子様

母

昭和三十八年六月二十一日

暎子ちゃんお元気ですか、暎子が帰った次の晩、婦人会主催の映画会がありました。これは佐野さんと私で教育長の所へ行って無料でかりて来たフィルムで、おかげで千九百円ばかりもうける事が出来ました。二本

だてで大層よい映画でしたが、またおかげで感想を書かされる宿題をおわされて、次の日は頭をしぼって感想を書いて教育長まで届けて貰いました。

さて、ようやく昨日で小豆を三反半ばかりまき終わりました。鈴木さんは約束の三十一日の五時頃から二時間半ばかりで農道の脇を起こしてくれたので、今度は山健ちゃんにハローをかけて筋を立てて貰い昨日蒔を付けた様なわけです。肥料も豆の配合肥料を一反六〇Kも入れたのでこれで獲れなかつたらどうかしていますよね。明日からは藤九朗さんのたんぼに行くつもりです。行ってみて無理だったらやめます。

次に靴は買いましたか？横井さんたら寿都へ自転車を買に行つて、暎子ちゃんにお土産だと靴を買つて来ました。靴なんて色やらデザインやら好みがあるので駄目なだけど気に入つたら貰いますか？今度何かのとき届けましょう。それとも送りますか？色は黒でデザインは左の様なものです。つまさきのカットは角ではない感じは足がとて長く大きく感じます。ビニールですからお値段の方はご想像下さいな。

以上お知らせを終わります。

暎子ちゃん江

母さんより



昭和三十八年六月二十六日

相変わらずくしゃくしゃした天気が続きます。

昨日は中ノ川の運動会があるはずでしたが雨でした。ゆかたを縫っていたら運動会の踊りの練習をやるからと、有線がかかって来たので残念ながらゆかたをしまつて、その前に型だけは出来たので来た時着て見せます。おどりの最中、後から千代松さんのねえさんふくれてきて川本さんがカーテンを引いて寝ていて来ない、オラも出なくていいんなら一生出ないと、みんなにガミガミ云ったもので、中村のねえさんは佐々木のねえさんに対しておこつてしまい、みんなも不愉快になりました。団体の中で我を通そうとする人がいる事は本当に迷惑です。

夜 中村さんからおいなりさんを三つ頂きましたら、明日運動会があるそうで又御馳走の作りなおしで大変です。さて運動会では接待係に当たりました。売店より責任が軽いのでよろしい。運動会来られないそうで残念ですがその方が後でゆつくり水入らずで逢えるからかえつてよいです。今度来るとき、なんて云ったつけ、頭にシューシューかけるのを買って来て下さいな。此の前、長万部から車で化粧品やら衣類を売りに来たんですけどみなは色々買いましたが、丁度鶏の餌を四千円ばかり買った後で都合が悪くて買いませんでした。土曜にパーマをかけて来ました。今度貴女が来た時長万部へでも行って何か安い物探しませんか？楽しみにしています。

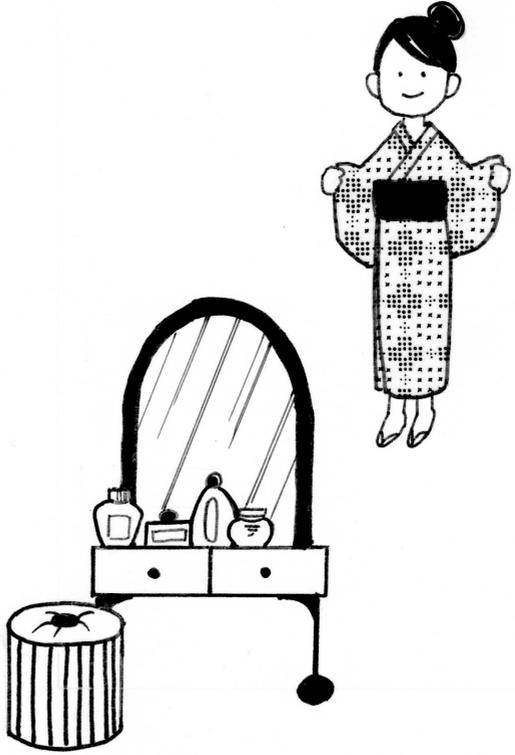
運動会三天氣がどうぞよい様に今度は中村さん、としまき、みのる、勝さん達も蘭越に働きに行きましたよ。  
今、五十嵐はチヂばかり残っています。

では又

暎子ちゃん江

来る時何か本があつたら持つて来て下さいね

六月は運動会の月です。運動会は部落上げての事業なのでそれは大騒ぎです。佐藤PT会長は口髭を立てた樺太出身者の代表で何やかやと言われながら部落をまとめっていて、当時はPT会長らしいです。なんでも挨拶できる機会があれば満足なので丁度よかったです。五十嵐からも五人位、仕事の応援に行った話はあらためて知りました。そう云えば蘭越から昆布に向かう急な登り坂を工事していたのを見た記憶があります。砂利がガラガラとして学園の園長さんのブルーボードに登るのに難儀していました。五人組は泊込みの出稼ぎだったのでしょうか。母は出稼ぎする体力もなさそうなので、鶏に頼り私達に頼らざるを得ないわけです。



昭和三十八年七月二十二日

暎子ちゃん昨日、日曜日には学校に行きましたか？

土用と云うのにやたらに冷や冷やしますね。私は貴女と長万部へ行つて以来畑の草取りに追われていますが、今年は雨の日が多かったせいも小豆の草また一反位それもハコベのもさもさした所が残つていてもう投げるかと思つています。といつつ投げるわけにも行きませぬしいやになります。

今日は雨降りでしょうやくスカート出来上がりました。ヨタヨタ縫つて、貴女に気に入るかなんて考えながらやつていましたが、終わつたら目の奥と頭の芯が石になつたみたいで今日は早くねるつもりです。けどまだ時計は六時四十五分、一丁ペンを走らしています。

スカートは近い中、魚やの加藤さんのにも頼んで郵便で送ります。ウエストは私に丁度よく出来ちゃつたし、ヒップは私にガボガボと云う所です。今度から思い切つて出来たのを買った方が私が楽ですよ。気に入らなかつたら普段に着ちやいなさい。それから昨年買った運動靴が出てきました。貴女に上げましょうか。

次に今、思い出したんですけどズット以前に作つた空色のフレヤースカートどうしましたか？あれもセミフレヤール位にしてどんでん着たらいかがです。

貴女学園では大根を蒔きましたか。私の方は種子がなくて困っています。入手出来たら送つて下さいませんか。農協へ注文した人も三分の一しか当たらず町へ買いにいってもどこにもありません。注文しなかつた人

は大根の種さがしです。私は二年前の目が出るかどうか昨日少し蒔いて見ました。今年大根を蒔いて売ればきつともうかるでしょう。倶知安でも札幌へでも出た時は氣を付けて見てください。

では又 乱筆でごめんなさいな。

暎子様

母

高校へ行くには家を出て、下宿生活をしなければならぬけれど、経済的にチョット無理、札幌南高校の通信教育で勉強する事にしました。初めは軽く見て最短期間で卒業出来るとあるけれどそれより早い場合はどうするのかと不遜な質問をしましたが、結局卒業まで七年位かかりました。無事卒業できる人は入学時の十分の一くらいで、本当に狭き門なのは通信教育なのではないかと思いました。先生は皆良い先生で、倶知安高校でいえば定時制の先生が担当で協力校となり、各地区に「蘭越支部」、「黒松内支部」等と各支部があり、私は先生から英語の特別授業を受けたり、古語辞典をもらったり、楽しい学習生活を送りました。全部で七十四単位取らねばならないので、殆どの科目をやらなければ卒業できない勘定なのです。

昭和三十八年八月九日

暎子ちゃん今日はお金とお手紙をどうも有難う。

なかなか貴女から便りがないので、札幌へ行ってから体でも悪くなつたかな等と心配していました。私の方は此処七日間昨日まで毎日、他家へ働きに行つて、さすがに疲れました。その中松木さんが四日半日で、これはダメンでお金を貰つたので、少し財布がふくらんだので、鶏のえさに二千円払い、あとは貴女に会いたくなつたので若し半日、貴女がヒマを貰えれば昆布へ行きたいなと思つています。

中村さん一家は、青森のお祭りへ行つて留守です。体験発表の話も聞きたいしね。それに私の仕事はえん麦刈りまでポツポツ草でも取る位なものです。

大根の種子どうもすみません。皮肉なもので無いとなつたら開協でどこからか買つて来てくれました。平野さん川本さんが二三反も蒔くし、久二夫さんも大学農園から種子を取よせてわざわざ蘭越から帰つて来て、今日あたり蒔いているようです。私も開協のを買つて少し蒔きました。種子がないので大根が売れるとの思惑はあたるかどうかバクチを皆やつているわけですね。

おぼんも近くなりました。私も初盆なので人のまねをして何かかざつて佛様をだしに何か御馳走を作らなければなりませんね。こんな事云つて申訳ないけど・・・だけど来月は一年忌になるので貴女もお寺参りに行きませんか？早いものですね。

一輝からは今月の便りまた来ませんがどうしているのかしら。明日あたり来ると思っていますですが何時の手紙も三下り半ただただあきれざるばかりです。

おぼんには部落の青年達も帰ってくるので婦人と青年と話合いの会を開く予定です。さてどんな事を話合おう事やら気がもめます。

ではこの位で

暎子ちゃんえ

母

昭和三十八年八月十九日

お便り拝見しました。

今年のお盆ほどたいくつで何も仕事がない年はありませんでした。お寺へは十二日に内海の小母さんで行って来たのですが、それから毎日雨が降り何もしないで家でゴロゴロしていました。十五日の午前中内海さんの小母さんがおきようを上げに来てくれて、ビールを一人で飲みました。

実は私が行く日何時にするかなと色々考えていました。えん妻が終われば安心して行かれると思っていました。そのえん麦刈は昨日と今日中村さんに行く日、終われば私の家のを刈ります。私は昨日一日で指のスジが張って痛くなりました。当分はえん麦刈やら落としやらでひまがありません。無理に逢わなくても又チャンスがあると思います。来月は一年忌です。どうしようかなと思っています。

時に一輝からはお金は勿論手紙も来ないので手紙を出しましたが、返事はまだ来ていません。病気でもしているのかと心配です。

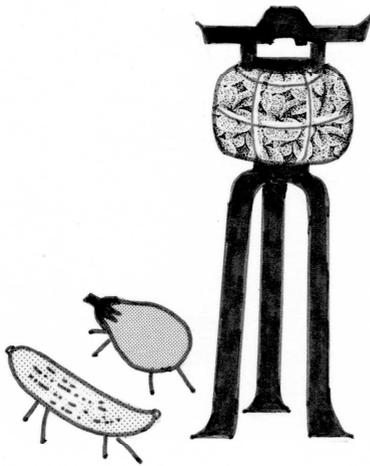
保母講習は何とかして行く様にうまくやって下さい。此の間久二夫さんが昆布から此方へ帰る時同じ汽車で、暎子ちゃんが下りてベンチにかけて汽車の通過するのを待っていたと云っていました、それが検察庁へ行った時なのですね。

今日は朝七時から学校の燕麦刈りで急いで書きました。

では体を大切に無理しないで。 さようなら

暎子ちゃんえ

母より



父は静岡で生まれ育ちました。しかし、仕来り等あまり関係なく、新婚旅行を兼ねた満州行きでは、結婚式の式次第の紙等も細かく裂いて大陸鉄道の窓から皆飛ばしてしまつたそうです。母も母親が病弱で早く亡くなり、義母が入つて来たので、仏事等には余りくわしくなく、仏様を出しに何か御馳走をとほ、母独自のユーモラスな表現でしょう。私もお相伴に与ろうと思います。父は自分がしてきた道なので文句も言わないでしょう。

でも父のお骨は私の所にあります。何だかんだ言つても所詮はおしゃか様の手の平の上なのですね。

昭和三十八年九月四日

これは貴女の手紙が来る前に書いたものですが、そのつもりでね。

暎子ちゃん、いよいよ九月も中旬保母講習はどうなりましたか？今日あたり何か便りがあるのではないかと思つています。私の方は、無事えん麦落しもすみ、昨日は人参をぬいて箱につめました。勿論一人ではちよつと無理なので、佐野さん夫婦に来てもらいました。思つたより無くて十七箱出ました。

お隣りさんの中村家では八箱でした。私の方が、同じ畑でも上手に出来たわけです。

一輝からは、今度は早めに送金が来ました。但し、二千五百円。今日は、熱海（旅行するので出費がかさみ、これでも多い位です）と書いてありました。あきれたものです。

父ちゃんの一週忌（十七日）は、来られないでしょ。一人でお寺さんへ行くのもはかきさいし、誰かさそつて行つて貰おうかなと思つています。

そろそろ新コも卵を持ち初め、たのしみです。

うちのもちきび、中村さんの初ちゃん目をつけてもう食べ頃だと云つて二回たべました。私は二本位で、あとは皆中村一家のお腹の中に入つてしまいます。うちのが終つたら、中村さんのを食べさせて貰います。

俱知安高よりの連絡、私の方へ来ます。住所変更を届けなさいね。

天高く馬こゆる秋、燈火親しむの時、体に気をつけて勉強に励んで下さい。

では又

暎子ちゃんえ

母より

此の手紙、出すつもりで切手まではって、ちゃんとしておいたら、貴女から手紙が来ました。それで、下の方を切つて手紙を出して又何か書くことにしました。

昭和二十八年九月

暎子ちゃん

今日は、貴女と一輝から一緒にお金がとどきました。一遍に幸福な気持ちになりました。一輝は先月借金をしたので、今月はこれだけです。もう少し御辛抱を…と二千円でした。

此の間は、一輝の声をテープに入れて送ろうかなと云って来たんですが、いも掘りでこわいやら何やらで返事は一日に出したんで、丁度書留の手紙と行違いになったようで心配してきました。テープ送って来たら、学

校で聞きましようね。

私の畑は、いも掘りとそば刈りは終わりました。すこし、茂木さんの稲刈りに行って来るかなと考えています。佐野さんの奥さんにさそわれましたから……新米でも貰ふつもりです。

茂木さんの家は、朝もそんなに早くないし、お昼も出してくれておやつも出ますから、楽ですよ。

でも、寒くなったので、鶏小屋も直さなくてはならないし、茅も刈って屋根も修理しなければならず、気もめまます。

でも、新コが産卵を始めたので、楽しみにになりました。

昨晚、父ちゃんが書いた古い日記を出して読んだのですが、百羽ヒヨコを入れた年で正月に遂に卵五十を突破す。と書いてありました。あの頃は、稗を、卵を売っては中ノ川の農家からしょって来て一日に五升も七升も食べさせているのですから、今はそれにくらべると鶏かいも随分楽になりました。

魚かすも、寿都までわざわざ行って買って来てるんですよ。

そして、他に収入がなくて薪を作っては売っておまけに十一月には農協から八千円も借金しているんですよ。本当に苦労したものだとか父ちゃんが可哀そうになりました。

つまらない事書いちゃったけど、今月の二十七日は町議の選挙があります。清き一票はどうしますか？  
お伺い致します。

素的なストラックス見たいです。貰ったセーターもです。

では、此の位で、此の次一輝から来た写真見せます。  
彼、少し大人になった様です。

暎子ちゃん江

母より

昭和三十八年九月

今日床の中で雨の音を聞いて、嬉しくなつてゆっくりしてました。

貴方はいかがですか。あの月の送別会は大変にぎやかで、内海さんは歌つておどつて、私が駅へ降りていったら、よっぱらつてフラフラしてました。二、三日足が痛い痛いと言っていましたよ。

私は体を休めていたので、次の日の出役も大して苦にならずすごしました。

中村さんは瀬戸物のタタキ売りで、二十枚つつそろつたのを二ヶ五百円で買つてきました。

みんな結構お金をつかった様です。

松木さんのえん麦落しから雨が降つて（晚九時頃までかかりました、その後は落しものはストップの状態です。

今年も早いもので、もうじき白いものが落ちる頃となるでしょうね。

今日はアメリカさんから来た物資の端きれを縫い合して作ってあった毛布の代用品（ややこしいわね）をほどこいて洗たくしました。

昨日丁度布地を売りに来たので、ペラペラの生地を四m、二百五〇円で買ったのでそれを裏地にして又作り直します。

お昼すぎ、平野さんの奥さんは、スカート一着五三百五〇円で買ったと、縫って呉れないかと持ってきました。あんまり仕事したくないけど頼まれたので、雨の日にでも縫って上る事にしました。

現金書留一昨日着きました。何も書く事はなかったのですか。

いよいよ保母講習近くなりましたね。決まったら又お手紙ください。どこにあるのか知らないけどそつちへも手紙出して上げます。

それからスーツか何か買ったらいと思ふんですけど、月賦でも買えたらいいんですけどね。

お金つていくらあっても足りないものなので困るわね。冬になれば何とかコートも買いたいんですけど。

（今、前の手紙を出して見た）グランドコートってどんなのですか？

一年に一枚位金高の物買って置くべし 私の格言なり

では又

天気よくなりましたよ。外に出て見ます。

五十嵐にも収穫の秋がきました。えん麦、人参とそれなりに収穫があつたようです。

二便目には、いも堀りもそば刈も終つたと書いてあつたので、母が一人で頑張つた夏も終りを告げたわけです。

後の長い冬は、鶏さんに食べさせてもらいます。でも、片道四キロもある山で一人暮しはしよせん無理な話なので、後に私の仕事の先輩の世話で蘭越に就職する事になります。

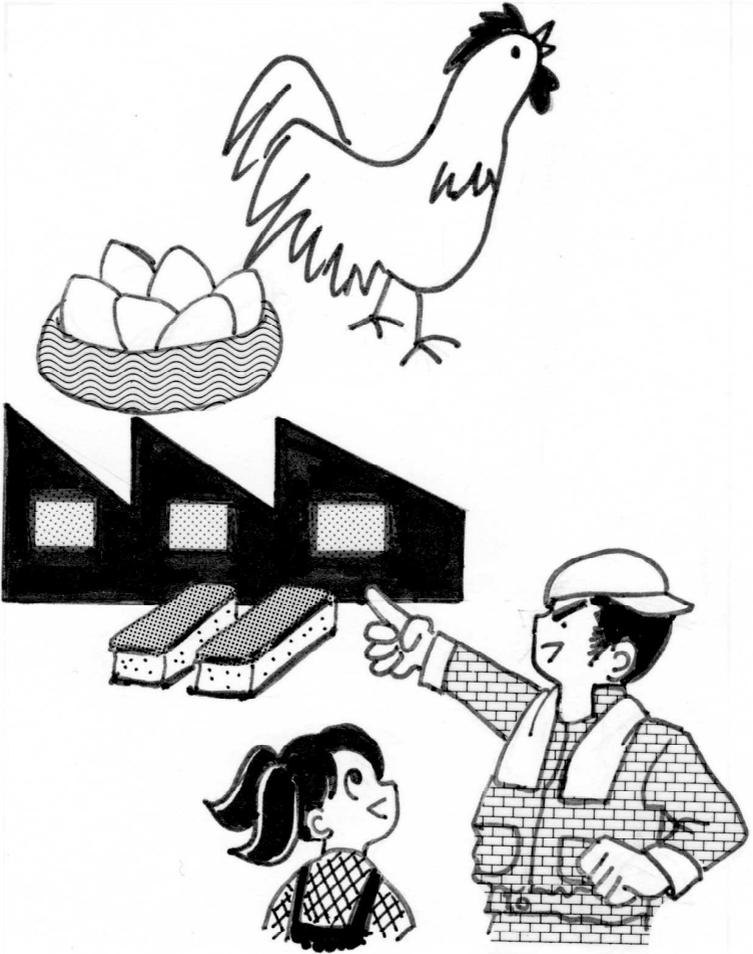
今度は、毎日でも会える距離になつたので、一安心です。

それから数年後にはぼつぼつと五十嵐開拓離農が始まり、結局全責が離農してしまいました。

原因は、農業では食べていけないからです。レンガの様な赤粘土土壌と毎日の様にかかるガスによって作物が育ちづらいのです。

「暎子、鶏に卵をいっぱい生んでもらつてカステラ工場を作ろうね」父は鶏をケージでなく、平飼いにしていました。

残念なことに、夢が夢のままで終つてしまいました。母はやさしくて、父の古い日記を読み、苦勞して父ちゃんが可哀そうになりましたと書いてあります。



昭和三十八年十月七日

暎子ちゃん、昨日はどうも御苦勞様でした。

黒松内に着いて見たら、あの汽車にはバスも何も連絡がないので、馬鹿を見たと思つて馱で思案していたら、丁度五十嵐の校長先生の奥さんと子供が同じ汽車で下り一緒にハイヤーで帰りました。車代は七百円で私は三百円だけ拂いました。

おかげで、おみやげもみんな持つて帰れました。但し、重たい方の風呂敷つつみはまだ学校にあづけてあります。学校についたのは六時半でした。ついでに御飯をよばれて油とモノゲン一ヶを上げて来ました。

今朝八時頃、風呂敷つつみを取りに行こうかと外へ出たら、佐々木の博君が薪を切りに来てくれたので、そのまま薪切りを始めました。千代松さんが能書の百マンダラをのべて切ってくれました。

うちのを切った後は、松木さんのを切る予定で勇ちゃんも松木のおじさんも手伝つてくれて丁度昼までかかり、昨日買ってきたお菓子やハムで御飯を食べて貰いました。

相にくチエンソーは油が無くなつて松木さんの薪切りはオジャンでした。午後からも、薪切りをしたら私はきつとのびてしまった事でしよう。

何しろ、チエンソーの音としんどうが胃にこたえて胃がビリビリちぎれそうでした。

とにかく、薪切りはすんだので、安心して下さい。我が家初つて以来の事です。

午后からは、小屋の窓をはづして薪を小屋の中に一ツ位なげ込みました。明日も薪を小屋へ入れる仕事です。雪が降ってからゆっくり割つても良いですからね。

おかげで、私のお金はスツカリどこかへ消えてしまいました。

でも、卵は毎日機械的に生産されていますから何事も御安心下さい。先ずは報告のみ。

竹内のおばさんにくれぐれもよろしくね。

では又

さようなら

暎子様

母

昭和三十八年十月十六日

暎子ちゃん、お手紙どうも有難う。

丁度、茂木さんの家で受取りました。茂木さんと云えば、郵便やさんの食堂みたいです。誰が来ても黒ぬりの四角い会席せんで御飯を出します。それを食べて自分のお辨当を持って来ない郵便やさんもある位です。それから、一休みして五十嵐へ向かいます。

私は明日で、七日半日茂木さんの稲刈りに通いました。

一日七百円だそうで、食事・おやつ付きです。朝晩はバイクで送り迎えなので本当に快適です。明日は切り上げで一杯出してくれるそうです。私はお米を一俵貰ふつもりです。

三月頃まで、寝て暮すによいでしょう。

鶏の方は、朝えさを二食分とえん麦を家の前にまいて行きますので、鶏の方は順調に産卵してくれています。時に、此の間久仁夫さん卵を持って行きましたか？

丁度、婦人会の映画のあつた晩にたのみました。

私の方は、次の日さすがにこわかったけど一日がんばりました。

映画も五本建となると、さすが感想文もこちゃこちゃになるかと心配しましたが、校長先生が一つ終ることに書いていました。

おかげで次の日働きに行けたわけです。便せん位の紙に六枚書いたそうです。

さて、私も何か冬の物欲しいと思うのですが、薪をまだ持つて行つてくれないので、現金が入りません。

と云つても、いつも二千円位のお金は手元にありますから貴女が来ても汽車賃位あげます。そして又貰います。

私も雨の日も、稲を刈つたので、本当にくたびれました。

暎子と二十七日に昆布へでも行きたいと思いますが、二十六日の晩に来ませんか？朝投票しても牛乳のトラックで行けますよ。では此の位で、又お便り下さい。冬もま近になつたので何かと忙しいです。今日は、大きな

ビニール（苗どこのもの）を貰って来たので、今年は鶏舎の北側にそれを張るつもりです。

さようなら

暎子ちゃんえ

母より

昭和三十八年十月

暎子ちゃん 今日から郵便屋さんの中村さんになりました。

その第一日に貴女から書留が来ましたと云うのは、昨日は不在という事になって戻っているのです。実は家の仕事をしていただけで分らなかったのね。

今日は内海さんの稲落しで、雨が降ったり晴れたりで晚五時半までかかりました。

今、お茶をわかしながら早速手紙を書いています。

暎子が開協から倶知安へ行った日から何かと忙しく、あの日帰ってから松木さんのそば落し、次の日中村さんの稲落し、その次が家のそば落しと連日奮闘致しました。

なんだか今度は、私がかぜをひいた様です。

でもおかげでそばは六俵位あります。今一俵三千円位してる  
そうなので、五俵出しても一万五千円で肥料代は終わる勘定  
で安心しました。

さて今日は、広瀬さんと貴女から一緒に手紙がきたのです  
が、広瀬さんからは暎子の云ったつくし園の指導員をしてい  
る梅本和巳さん（二十七才）の事でした。お母さんは役場に  
つとめておりましたが、昨年亡くなり現在は七十八になるお  
ばあちゃんと二人ぐらしかそうです。そして私の方でその気  
持ちがあれば暎子さんと相談の上、一度おいで下さい。とありました。

何と返事をしますか？返事を待っているそうです。

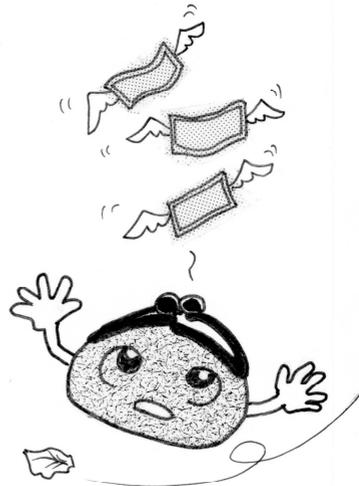
とにかく貴女は保母資格を取りたいと一生懸命なんだし、何と返事上げましょうかね。

貴女の云う「カチャツペない」と云う意味はどういふ事ですか？御返事くださいね。

町に又選挙がありますね。

一回私が出かけて又温泉でも行きたいと思つて居ますが、お暇はありませんか？

今月から丸山で苗木植の仕事があり、よいお金になるそうで中村のねえさんや、揚張さん、山村のせつちや  
ん達は行くらしいですが、私は欲ばらないで冬の支度をしようと思つています。



日も短いし、寒くなって体を悪くしたら困りますから…。

では此の位でお返事待っています。

暎子ちゃん江

お母さんより

五十嵐開拓にも、新兵器が現れました。

チェンソーです。手ノコの何倍も効率が良く、脅威です。五十嵐も進化しています。

そはの収穫もありました。一俵三千円位だったのですね。

次は、お見合の話です。「つくし園」の広瀬先生のお話ですが、私自身は勉強に一生懸命で（カツコイイ）、また結婚には今いち気が乗りません。「カチャツペナイ」と悪口を言ったのですね。意味は、貫録がないに近いでしょうか、失礼いたしました。

母は、他家の稲刈に行きました。一日七百円で食事おやつ付だそうで、お米一俵貰うつもりだそうで、その頃のお米は一俵五千円位なのです。

昭和三十八年十一月

お手紙拝見しました。あれから毎日薪割りで今日全部割り終り小屋に積みました。横にズラッと二列と三分の二みごとなものです。

といつても、一人で出来たのではございませぬ。昨日、高橋さんの正明が一日来たし、久仁夫さんが私達の割れないのを割ってしまいました。さて、そのうちわけはと云ふと、以前から久仁夫さん入院しているので、今薪を切っている事が出来ないのです、二ツ借して貰いたいと云っていました。

私も自分は三ツも切つたし、一ツは松木さんのねえさんの所へ売つたのですが、まだ残っているので、その中二ツを貸して春新しいのを返して貰ふ事にして貸したものです。

信用貸しなのですが、久仁夫さんならあんまり狡い事もしないだろうと思ふのですが……うまく働かせればね。その薪を、運びに来たので割って貰い、なつ子ちゃんにも小屋へ運んで貰い、全部終つたと云ふわけです。(お礼は卯二〇ヶなり)

五十嵐の学芸会には、婦人会も楽団でかつやくしますが、私はどうとう笛を吹くはめになります。ようやく「お馬の親子」と「夕やけ小やけ」が吹ける様になりました。

なにして、食事を作りながら吹いているのですから、上手になるはずですよ。

御飯もこげついているのも知らないのですからね。

今日で、薪の方は片付いたのですが、まだ何やかにやと用がありますが、二、三日中に広瀬さんの所へ行って来ようかと思っています。

来月一日には、是非いらつしやい！薪のズラリや何か見ると気持ちがいいですよ。その時、ニセコ温泉の事等を相談しましょう。

それから、年賀状は二十枚買いましたから、今度来た時に上げます。

では御返事のみ

暎子ちゃん江

母さんより

◎婦人会より注文した衣料品が着いたそうです。それも今度貴女が来た時にお見せ致します。よろしかったら、売ってあげます。



毎日、薪割りで明け暮れているようですが、冬には一番大事な仕事になります。

一つとは、二尺の薪が高さ五尺で、横十尺に積みます。

それを見た目綺麗に、かつ材料をあまり使わずに積み上げるのには、こつがいります。

五十嵐の学芸会も近づき、アーチストが一人誕生しました。持ち歌は、「夕やけ小やけ」です。何はともあれ、もう直ぐ新年です。

昭和三十八年十二月十九日

暎子ちゃん、お手紙今日（十九日）受取りました。

此処の郵便やは、私の所だけ一日おくれで本當にけしからんと思います。

さて、梅本さんの件、石村先生の奥さんの所へ行つて色々聞いて来て今帰つた所で急いで晩御飯を食べてへんを取りました。知己さんは、綾ちゃん（奥さん）の一級下だそうです。

お祖父さんがお医者さんであつて、お父さんが早く亡くなったので、お祖母さんにそだてられたそうです。お母さんは別に外に出て働いたようでもなかつたとの事で役場へ出たのも、こゝに二年ではないかとの話です。財産は、家がある位なもので知己さんは定時制に行つてゐる頃は、どこか店員でもしていたんではないかとの話でした。

おばあさんは仕立物なんかして小遣い取りをしていたらしいです。そこで、知己さんの性格ですが、おとなしい人で暎子ちゃんにはものたりないかも知れないが、ふり廻される事もないから、かえつて暎子ちゃんにはいいんではないかとの事です。

自分から進んで何かやる様な事はないが、頼めば嫌とは云はない親切な人だとも云っていました。家は、私達の見てきた表札のかかつてない家で、大きな家で私なら下宿屋をするんだけど、何時か云つたら、そんな事はいやだとおばあさんが云つたとか何とか云つてました。近所の付き合いもちゃんとやつて、とにより達の毎月順

番に各家でやるおきようさん（お経をとる集り）にもおばあさんは出るし、自分の家でもやるそうです。

おばあさんは利口でやさしい人との事です。知己さんも経済的に大分苦労した人ではないかと思えます。

お母さんが亡くなった時、役場の世話をこつわつたとの事で、生活扶助は受けなかったとの話でした。

知己さんが、大きな病気をしたことも聞いた事はないそうです。

とにかく、家のお父ちゃんみたいに人間的な面白味はなく、可もなく不可もないと云ふ所で私の様なついであるに苦労する事もないと思いますが、どんなものかしら？今度の日曜にでも逢つて話をして見れば教養とか趣味が分ると思います。たしかな返事はまだ後でもよいではないですか。

でも、なんとか保母の資格の半分でも取りたいものです。

とても一人の収入ではやって行ける筈はありませんものね。

人間は話をして見て虫がすかないと云ふ事もあるし、そやで教養の無いなんてのはがまんが出来ませんからね。

（気がすすまなかつたらやめましょう）それから、煙草ものまない人らしいですよ。

さあ、私の聞いて来たのはこれだけです。綾ちゃんは通り一ぺんの事だけしか分らないので、結極貴女が本人の人がらとか教養を見るしかありません。勇気を出して逢つて話をしてごらん下さい。手紙のやり取りをして見るのも良い方法です。

人間は、年々成長して行くものです。良い方にか悪い方にか……それもお互いの努力によるものではないかしら？

私達も若い時色々なやんだものです。お父ちゃんが強い性格だった為、押し切られた様で随分苦労しましたが、人生なんて上には上があり下には下があるものです。他人がおかしげな夫婦だと思ふ人達でも当人達は結構辛にやっつてるものです。

お母さんより

暎子ちゃん江

急いなので、乱筆でした。せいぜいお手紙で連絡して下さい  
あんこ餅は引受けました。竹内のおばさんよろしく！

昭和三十八年十二月二十日

暎子ちゃん、今日は沢山にどうも有難う。私の家では、昨日お餅をつきました。中村さんのところで一緒についたので、中村さんは郵便に行つたきりでどこかで脱線しちゃって、全部初ちゃんがついてしまいました。まったく申訳ない所で私の買っておいた正中をどうもお疲れさまと云って、初ちゃんと二人で飲みました。中村さんは聞えないふりしてテレビを見ていて自分はもう手一杯飲んで来たので、わづか飲んでおしまいにし

てしまいました。

毎年、作っているのにあん餅中々上手に作れませんが、暎子が来るまで少し残して置きます。

一輝からはボーナス二万八千出たそうで五千円送ってくれました。それで竹田さんの借金二千七百円拂い、千五百円の電気アイロンを買いました。他の借金(病院)は見送り。税金千円拂いました。えさは、三袋と魚かす一袋買ってきました。人並にみかん一箱とお酒四合ビンも買いました。

次に、広瀬さんからは其の後何とも云って来ませんが、向ふ様も返事

を待つているのではないですか。お正月に一度話し合つて見たいのなら連絡して見ますか？私は貴女の方で何とか連絡しているのかと思つていました。実の所、毎日貴女からの手紙を待つていたそうです。なんだかんだ、梅本さんと結婚しなければならぬと云ふわけではないんですから、あわてない事です。此れが今年の最後の便りでしょうね。

よい年を迎えて下さい。

では、さようなら

暎子様

母より



私に、結婚話が持ち上がりました。お相手は養護施設の指導員をしている方で、広瀬園長さんの紹介ですが、今まで父の教育は、男女の機微に対するの特別教育はなかったので、実感がわかず、友達に聞いたりしました。

母も初めてのことなので、やはりあわてている様子です。引き合いにさらされたのが父で、人間的な面白さと母は云っていますが、満州くんたりまで行って、大変な思いで引揚げてきて、今度は北海道かよと私は思うのですが、やはり、父と母は相思相愛だったんですね。

父が、早く倒れてしまい、母の苦勞を見ていたので、男の責任を考えていたのですが、愛し合っていたのであれば、共同責任で救いようがある気がします。梅本さんとの話も、チャンスの一つですから、新年になったら話を進めて行こうと思いました。

昭和二十九年

昭和三十九年一月五日

暎子ちゃん其の後御元気ですか？明けてから、毎日風と雪でどこへも出られず難儀しました。

昨日は部落の新年会で出席し今日は黒松内に行ってきました。そして広瀬さんの所へ伺いました。

梅本さんの件です。はっきり言えば、向ふ様と此方のタイミングが合はず、向ふ様は此の度お見合いした人と決ってしまったとのことです。

色々話をきいてなんだかムシヤクシヤしてしまいました。

暎子ちゃんがあの話を聞いて、そして見合からこつち私以上に頭をなやましたことと思ふし、此の手紙を読んで又ショックを受ける事と思いますが、私が聞いた事を書いて見ます。

まず、上つてから先日のお礼をのべ、其の後広瀬先生から何もお話がないし、佐々木さんに聞くのもテレクサイと手紙で言つて来ているけど其の後、梅本様の方では、どんな様なお考えか、暎子の方では色々話し合つて見たいと云つて来ると云つた所、奥さんの返事は結婚を前提としてお附合は出来ないと云つた事は、梅本さんがていのいいお断りと取つたらしく大分がっかりしていたと奥さんの妹さんが云つて居ました。

私が行つた時、電話で妹さんも呼びました。

丁度其の頃（十二月二十五日）前に見合をした人（二十六才になる）は仲々積極的で自分から梅本さんに手紙をよこして私の様な者でもよかつたら貰つてくれ、おばあちゃんにも出来るかぎりつくしてやつて見ます。（言

葉の違いはあるかも知れないけど」とよこしたのを広瀬先生に見せたそうで、その人は家がえさしにあるので今は江差に行っているらしいとの事でした。

(此の頃佐々木さんは何も貴女に云はないのではないですか?)

つまり、子供が物を欲しがっている時自分の自由になるものを先に取ってしまふと云ふ様なものです。梅本さんは暎子の方を欲しかったけど、今自分の自由になる方は暎子ではなかった。

広瀬先生は、そんな様な意味あいの事を云はれたけどそんな事はもう聞きたくなかったわ。

初めから両天秤かけた様なもので此方もそれを知っていてふんぎりがつかなかった落度がありますからね。結極これもえんが無かったものと思つて欲しいとの事でした。

私に云はせれば、見合の後広瀬さんは何も連絡ないし仲人としては無責任と云ふほかはないと思ふんだけど…

…

此方もそんなに積極的でなかった落度があるなどあきらめるより仕方ありませんね。

此の手紙と前後して、広瀬さんから貴女に何か手紙が行くかも知れないけど、同じ様なものでしょう。

ただいたずらに、悩んだだけ損したでしょうけど、こんな事は長い人生の中にはたまにはある事だと忘れて下さい。

十日頃来られるとの事、今道路が無いから昏間に、そしてなるべく偶数日に来る様に。偶数日は牛乳出しで少しは楽ですから…

出来れば何日に来るか、手紙を下さいね。  
では返事は待っています。

暎子様

母

昭和三十九年一月十三日

暎子ちゃん其の後御元気ですか？写真出来たのでお送り致します。

一輝には一人一人名前を書いて上げましたけど、貴女はお解りと思えますから其のままに致します。

今日でスラックス三着目を縫っています。みんな仕立直しでついだりはいだし、さすがに頭が痛くなりました。

あのカシミヤのはとてもよくなりました。

時に、暎子は二、三年前、内海さんに冬来ていたクニオと云ふ少しハンカくさい若いものおぼえていますか？

内海のおじさんの親戚の者です。

これはあきると、ふらっとどこかえ行ってしまうくせがあるので、三、四日前内海さんに来ました。今後  
も案の定、家をだまって出て来ているのが、一昨日空知からの手紙で分りました。

そのクニオが、あさつて帰る時、暎子ちゃんの所へ寄って行くとか云っていましたので、お知らせ致します。馬鹿だけに、行くかも知れませんが、行ったら適當（？）にあしらつて帰して下さい。この手紙の方が後になるかも知れませんが……

一輝からはまだプレゼントのお礼来ませんが、其の後写真も送ったので何と云つて来るか楽しみです。二月の二十日頃から自家用薪山が初まるらしいです。

今年も薪だけ取りたいと思っています。

私は此処しばらくは、縫い物に専念するつもりです。何が出来るか此の次お逢いする時にお見せ致します。竹内のおばさんによろしく

暎子ちゃん江

母より

昭和三十九年一月二十日

昨日は無事学園に帰った事と思います。

昨日はお客様のあった日で、洗濯も午後3時頃までかかってしまいました。中ノ川へ行く途中、長いひげのは

えたおじいさんに行き逢つた事と思いますが、其の人がちよつと話した暎子を貰いに来た人なのですよ。

松木さんも来て暎子が今朝帰つた事を聞いて残念がつていました。本人から意見を聞きたいらしかった様です。

私からは、本人が当分結婚の意思が無いと云ふことを具体的に（保母の資格を取りたいと云ふこと）を話しておことわりして置きました。

将来、母子があんまり遠くに離れて暮らしたくない気持が私に多分にあるので、貴女が保母の資格を取ることと一輝がもう少し一人前になるまでは、こう云ふ話は保留と云ふ所でしょうね。二つとも明日になれば、どう風が吹くか解らない事です。

午后から内海さんのおばさんが縫いものを持つて遊びに来て、四時過ぎまでいました。婦人会の方は会長をやってすぐくのんびりして、なんだかねむい様な気持です。

此処まで書いて二日程たってから、松木さんがやって来ての話をお伝えします。

今度来たのは、此の前と話が違ふらしく、今度のは室蘭の製錬所の事務を取っている人で、年は二十七歳長男だそうで。これは一年位待つてもよいとの話で是非私に来て（室蘭に）見て貰いたい様な話でした。松木さんも多分、野次馬的な所があるのではないかとも思われますから、よい返事はしませんでした。

あれから雪もすつかりとけて、いよいよ畑仕事が始まります。

今年も、まだ計画書も出してないし、少しやって時々出面とりに行くかなと考えて居ます。

此の間は、手紙と貴女が来るのがダブって楽しみが半減しました。来月は私の方から行きますから。良い日

を知らせて下さい。

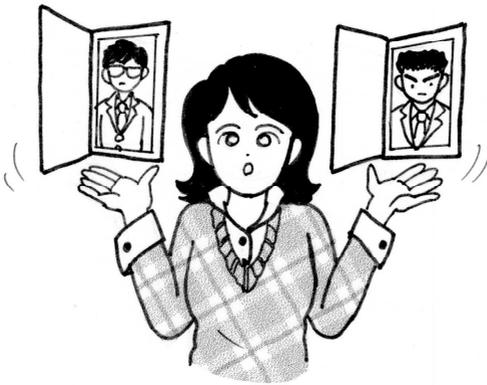
ヒヨコは隣にでも頼んで行きます。

本は大変読み出があつて、まだ楽しんで読んでいます。

では又

暎子ちゃん江

母より



突然お見合いの話です。わたしの記憶では、霞の彼方にあつたものが、母の手紙で呼び覚まされた気がします。母は、大変御機嫌斜めです。

「逃した魚は大きい」の例え通り、結婚話が手から逃げたと思つたら腹が立つてきたのでしょうか。

でも、私には母の気持ちは何となく分るのです。頼りにしている暎子ちゃんから離れたくない。それが深層心理にあるのです。それは母の生活が安定すれば解決する話です。

父が死んだ事によって、山で暮らす開拓という本来の意味は、まったく無くなつてしまつて、後は母の生活さえ成り立てば済むわけです。幸い、体も頭も人並に動くから、まさに時は今なのです。お見合の話から大きくずれてしまったけれど、今改めて考えれば、そんな時人間は自然に動くのでしょう。十数年の歳月も数町の瘦地も捨てて、町へ住居をうつす決心をした母でした。

昭和三十九年二月十四日

暎子ちゃん、何時も何時もどうも有難うございます。

私の方はいよいよ薪山が初まります。今日は第一日の道路付けと、採面割りでした。山のふもとまで行って帰って日がくれました。続きは明日のお楽しみです。今、足をお湯であつためて手紙を書き初めた所です。ミシンの月賦は今月で一万八千拂つた所です。貯金ならば、仲々こうは行きません。

此の前は、二日ばかりものすごい吹雪で一日目は、縫い物をしていましたが、二日目はあきてしまったので、ボタ餅を作りました。中村さんに八ヶ上げしましたが、まだあつて今日山から帰つて来て食べたんですけど、無くなるにしたがつて段々美味しくなるから不思議です。

暎子ちゃんが八課目も取れたら私も千円位ふんばつして何か買って上げます。四課目でも取れたらごほうびを半分にしときます。

貴女はしよつちゆう風邪を引いているらしいけど、へんね。バターでも買って来て食べたらいかがですか。此の前、佐々木千代松さんとこのねえさん、きくらせんきで入院するとかなんとかで半月位寝たりして馬をたのんで病院へ行くのも送り迎えだそうです。

まったく鬼のかくらんみたいですが、私なら病院へ行く事も出来ないだろうと笑い事ではありません。

とにかく、体は大事にして下さい。試験がすんだら休みを貰って家へ来てゆっくり寝たらいかがですか？

西田さんと云ふ人の事、暎子ちゃんの書き方が可笑しくて、さんざん笑いました。

では又明日山へ行かねばならないので（行かないと罰金千円です）

この位で、貴女の事うまく行く様祈っています。

さよなら

二月十四日

暎子様

母より

此の前の一輝の手紙、初めてお母さん江と書いてありました。

薪山の事を少し説明します。まず、道路付け、何も無い所に馬と馬そりが通れる道路を作ります。次は採面割りです。自分が切つて良い場所を決めてもらう訳です。これは多少運不運はあります。南の沢のスラツと伸びた木の多い採面があつたり、逆に根元の太さの割合に伸びのない木だとか、様々です。それを、窓ノコで倒すのですが、いよいよ倒れるようになります、休みなくノコギリを引くために心臓が高鳴り、木が倒れるとほつとしたものです。母が云っている八課目合格とは、保母試験のことで、これは、ピアノを除いて全課目合格する事が出来ました。

昭和三十九年二月二十日

暎子ちゃん、一昨日手紙を書いたのに又何事かと思ふことでしょうね。実は今日（五日）湯別の工藤さん（下田さんに勝美ちゃんを世話した人）が来て、暎子を嫁にとの話で、急いでいるので自分が暎子の所へ行つて話をしたいから、連絡してくれと云ふのです。相手はヒヤトイだそうで、あんまりパツとしないけど、連絡だけ致します。

工藤さんは、九日の昼すぎ学園に行くそうです。

相手の人は磯谷の山本さんと云ふ人で、長男二十八才、又親も日やといだそうです。現在、家にいるのは父母と長男のみ、他は出ているそうです。

工藤さんは、湯別の佐藤と云ふ人に頼まれて来て、本人の顔も見た事ないそうで甚だ頼りになりません。八年位は収入がなくても暮しに困る事はない位裕福だそうです。いかがですか。

三月中に式を上げたい等、たわ言を云っていました。

私はおそらく急ぐのなら、駄目でないか、本人に聞かねば行く気があるかどうかわからない、本人の希望と違ふ様だと云つたのですが、自分が（工藤さん）本人に話をして行く気があるかどうか聞いてくると云つてきかないもので、それでは私から暎子に連絡して見ますから行つて話して見て下さいとつっぱなしたんですけど

……

一応、工藤さんが行くまで返事を考えて置いて下さい。

工藤さんも、自分はよく相手も知らず話を持ってくるんですから、あきれました。とにかくお知らせ致します。

今晚は、毎年書いて出している五ヶ年計画書なるものを書く予定でしたが、その為書く事も出来なくなりまして。

明日昼間にでも書く事にします。どうせ政府から資金を借りるつもりはないし、早晚此処から出たいと思つているので、離農手当でも貰える様にしたいものです。

昨晚、中村さんの家で書く積りで出かけた所、夜はテレビを見たいので、仲々書けないと云ふ話で私もテレビを見て来ました。

中村さんは、千代松さんのを頼まれているので、今晚あたり又少し書いてはテレビを見ている事でしょう。では用件のみお知らせ致しました。

映子ちゃん、来るのを楽しみに待っています。

久仁夫さんは映子が来るまでは薪は出してしまふと云っています。が、果たしてどうかしらっ乱筆でしたね。

映子ちゃん江

母

また、お見合の話題です。ぐにもつかない話ですが、手紙に見せた母の一刀両断ぶりが可笑しくて、あえて載せました。初めの人、相手はヒヤトイとわざわざカタカナで書くか。

二番目の場合、紹介者が本人の顔も見た事もないので、甚だ頼りになりません。と何か楽しんでいます。

八年位は収入がなくても暮しに困らないといわゆる仲人口ですが、たわ言といわれては、橋渡しさんもガツカリです。

手紙によれば、中村家にはテレビが入った様です。男手があるとないとの所得の違いなのでしょう。父も新しい物が好きでしたから。カメラも現像から手がけてみたりね真空管ラジオを改造したりしていたので、生きていけばテレビに興味がないわけはありません。借金して買って来て得意げに解説する顔が目につかぶようです。

昭和三十九年三月四日

暎子ちゃん、今日は丁度お節句、暖くなりましたね。

あれから、試験の結果はともかく何とか手紙が来そうなものだと毎日、中村さんのねえさんとまだ来ない、まだ来ないと云っていた所でした。

薪山始まつて以来、中村さんは毎日薪切に行っているの、ねえさんが郵便屋さんをやっています。

私の木は、千代松さんとひろし君が手伝ってくれて二日半日で終りをつけましたから、御安心下さい。明後日あたりから、家の木が運び出されます。

昨日は久仁夫さんの木が終ったので、文字通りの切り上げでブドウ酒四合ビンを久仁夫さんと飲みました。千代松さんは、勿論中止でした。出費は私持ちです。

六日は久仁夫さんが失業保険を貰いに倶知安に行くので、お休みになります。又、近い中には、学校用材として切る木が二十七本ばかりあるので、二日位出役になります。

もう、私は真黒に陽にやけてどうにもなりません。

今度来た時には、きつとびつくりするでしょ。

とにかく、試験もすんだし、その結果なんかどうでも、今度はゆつくり休みに来て下さい。楽しみに待っています。

丁度、二十日から三日間私の方はぶつつづけで出役でへトへトになりました。採面が広いので、道路も多いからです。

おまけに、今年は藤田さん、平野さん、佐野さん、田中さんがとるのを止めました。色々理由はありますが、今年から学校が石炭になるので、学校で薪を買ってくれないので、木代金は自分が先に拂わねばならないし、他人の馬で出して貰ふのでは、お金がないし、その上自家用薪を切っている間は収入がないので、食べるのに苦しい等、いづこも同じ秋の夕ぐれです。

でも、果たして秋になって石炭をまとめて買ふだけの金が出るかどうか？平野さん、佐野さんは石炭の方が安いから石炭に切り変えるそうですから……

次に私の就職の件、いつもいつも中村さん方に申訳ありません。事務の方はやった事はないので、自信はありません。どの丁度そろばんが出来るものやら私にも分らない所です。やれば、だんだん上手になるかも知れませんが……今度貴女が来た時相談してみましよう。一應どんなお店か貴女も見えておいて下さい。

又別に、私の結婚話があります。

俱知安の人で何かお店をやっているそうで、子供は五人もあり、去年奥さんを亡くした人だそうで、(千代松さんの話です) 若見さんがよく聞いていたから、後で話に来るかもしれないと云ふ事でした。

世の中には、不幸な人間が何と数多くいる事よ、です。

此の間、いつか家へ来た事のある熊打ちの話を夜中までしていた下藤さんが、生年月日で吉凶を占べるのが好

きで、私のや、お父ちゃんのを占べて見てくれたんですが、私とお父ちゃんとの相性は大凶で、死んだ年もあんけんさつの大凶でした。私の相性は、牛年の人だそうです。(前に知らせたかな?) 暎子のもその本で見ると所でしたが、汽車の時間になっちゃって残念乍らこの次になりました。あんまりかづぐのも、よくないけど、何かそんな事もあたる様な気がします。

三月末には、ヒヨコが来るので当分出られなくなります。

今年の畑の計画は、まだきまつていないんですが、とにかく明日あたり農協へ一應計画書なるものを出しておくつもりです。

では又、来る時何か食べる物買って来て下さい。

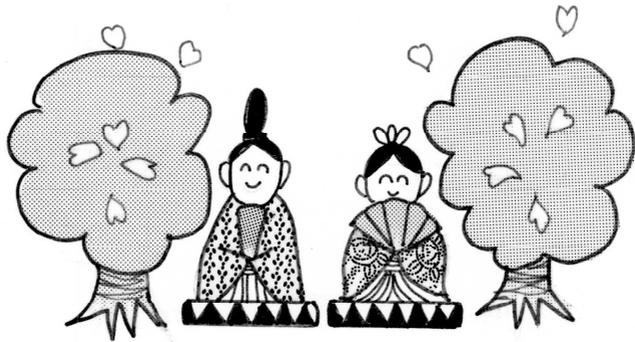
早めに葉書でも知らせて置いて貰いたいです。山へ行く人がくるので、私が山へでも行く時には鍵をかって出て行くので、貴女が来ても家へ入れませんよ。

あらかじめ、知らせてあれば出役の時にも開けておきます。

では、さようなら。

暎子ちゃん江

母より



三月三日、お雛様です。お彼岸が近づいてくると、やはり春めいてきます。

変化が少ない生活なので、私の便りが待たれるのでしょう。母の所の木は手伝ってもらい、余裕で終らせました。中村さん一家を始め、ご近所に恵まれて幸せと思います。母は、気を遣って、皆さんに一杯飲んでもらっています。

手紙に書いているように数人の人が木をとるのをやめています。先に行けば何とかなるような気がして、先送りにしますが、結果は、同じで、石炭を買うお金は用意出来ず苦勞するのです。皆、生きるのに少しでも楽になれるよう模索しています。

母も一大決心をして、五十嵐を離れる事にしました。父が決めた道だったので、後ろ髪を引かれる思いもあつたと思いますが、一人では農業は絶対無理です。

結婚話もあるそうですが、あまり気がむかないようです。

工藤さんという人が、占ってくれたそうですが、父と母の相性が大凶って、それは無いでしょう。一杯飲んで御機嫌な父と畳の上でダンスを踊っていたのを今でも思い出します。

一日に焼酎一合で満足していた父。意外と真面目だったのだな。

今なら、もっと飲ませてあげるよ。

昭和三十九年九月

暎子ちゃん、台風十号が無事通過した後、貴女からの手紙を受取りました。昨日は、家のなたね落とし、らくに終りましたよ。

幸い、青い中、刈って置いたので、此の前の台風の雨に降られましたが、芽も出ずよいなたねで丁度来あわせた松野さんもよいなたねだと云って帰りました。但し、収かく高は、二表位です。

中村さんは、登別から帰って次の日から二日ばかり、私も行って刈ったのですが、雨の為足が出て私よりはるかに悪く、でも五、六俵はあるでしょう。二日続いて落しもので、今日はすっかり疲れて十時から十二時まで又ねむりました。

次は、えん麦刈に毎日行くつもりです。この所、体の調子は快適で働くのが楽です。毎日落しものや刈ものの時みんな暎子来ないか来ないかと、来たら手伝って貰おうとあてにしていますが、来たらゆっくりねかして上げます。

水道の人夫の中に、名前は知らないのですが、学園の本間さんと中学時代、同級だと云ふ男の人が来ていますよ。

登別へ行つて以来、ちよつと金欠病でキユウキユウしていましたが、このお金で助かります。昨日も落しもので正中やらお菓子に六百円ほど使つてしま



った所です。

でも前の日食べて来てるのでから同じですが、中村さん一家四人と佐々木のサトに手伝つて貰い、サトはデメン賃三〇円にまけてくれました。仲々よく働いて（気がむけば）助かりましたよ。

次に今度帰る時は、楽しみが二重にもなりますよ。それは長門屋から冬の衣類がたくさん送られて来ました。貴女にすぐ着られるものが三枚位あります。帰つてからのおたのしみでそれは何でしようとしておきます。

次に、此の前の台風の時は中村さんの家でねましたが、家は無事白菜畑の所へ水が上がりましたが、たいしたことありませんでした。今回も無事でしたから御安心下さい。

では、早くいらつしやいね。

母

おわりに

母の古い手紙を読み返していたら、タイムスリップしたように、昭和三十七年頃の生活が蘇ってきました。母が四十三、四才。わたしが二十二才、集落の皆も若く元気いっぱいでした。それが竜宮城から帰って来た浦島太郎のように、あつという間に年を取り、大半の人達は天国へ住居を移し、わたしも古希を通り越し女性の平均寿命に近づいて来ました。

結婚した時、母娘共に引き受けると心強い返事をした筈の夫が、四十六才の若さで病を得てこの世を去ってしまいました。私の手元に残されたのは、母と三人の子供、犬一匹、猫とハムスター各一匹ずつ。ちよつと途方に暮れました。しかし、やるからには型を整えて個人会社を有限会社に変え、有限から株式に移行しました。やるつきや無い精神で頑張っています。母の手紙の中の「川の流れにも似て、私たちの生活も静かに流れたり、急流に押し流されたりしながら、一日一日と過ぎて行く」とあるように、頑張っても無理な事は、時が解決してくれるのを待つ等、自然にまかせるのも時には肝要な事と思うようになりました。だから、私の座右の銘は、「人事を尽して天命を待つ」です。

この度も良い機会をいただき、母の手紙を本にする事が出来ました。沢山の方々のご協力に感謝申し上げます。筆を置きたいと思えます。

母からの手紙

2014年10月5日

著者 増田暎子

発行者 増田暎子

協力 古谷麻美 脇山幸子

出版 らんこし作家デビュープロジェクト

© Eiko Masuda 2014

1歳の頃の以久子さん



0歳の頃の以久子さん

